

### 第3章 子どもの年齢別に行った質問

第3章では、調査対象の子どもの年齢に応じて質問しており、報告書では、各質問に質問をした年齢区分を表記した。

就学前	就学前のお子さんの保護者への質問
小	小学生のお子さんの保護者への質問
中・高	中学生以上のお子さんの保護者への質問

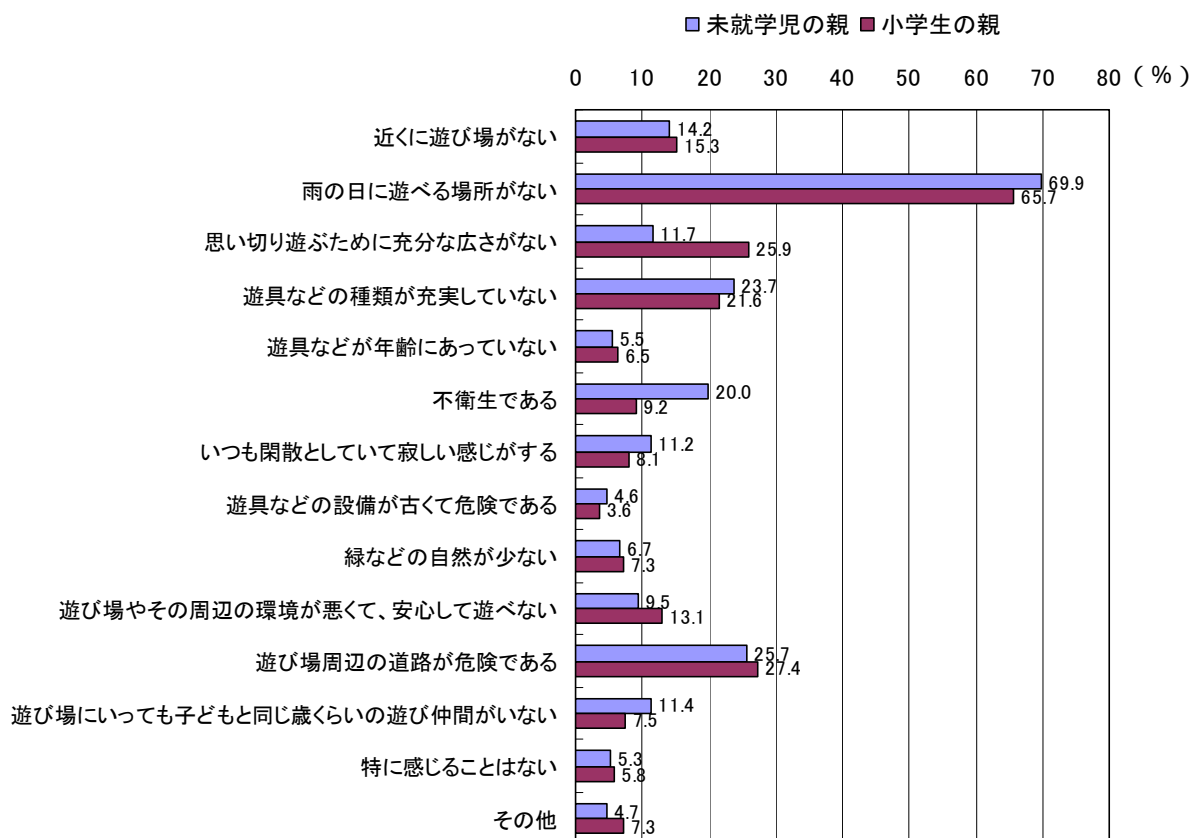
就学前 小

#### 子どもの遊び場について 【問22】【問35】

あなたの家の近くの子どもの遊び場について日頃感じていることはなんですか。(3つまで)

未就学の親、小学生の親とも「雨の日に遊べる場所がない」が飛び抜けて多く、次いで「遊び場周辺の道路が危険である」「遊具など種類が充実していない」となっている。

年齢による差をみると、「思い切り遊ぶために十分な広さがない」では小学生の親が25.9%に対して未就学の親は11.7%となっており、「不衛生である」は未就学の親が20.0%に対して小学生の親では9.2%になっている。



回答数 未就学児の親 = 1,277、小学生の親 = 1,238

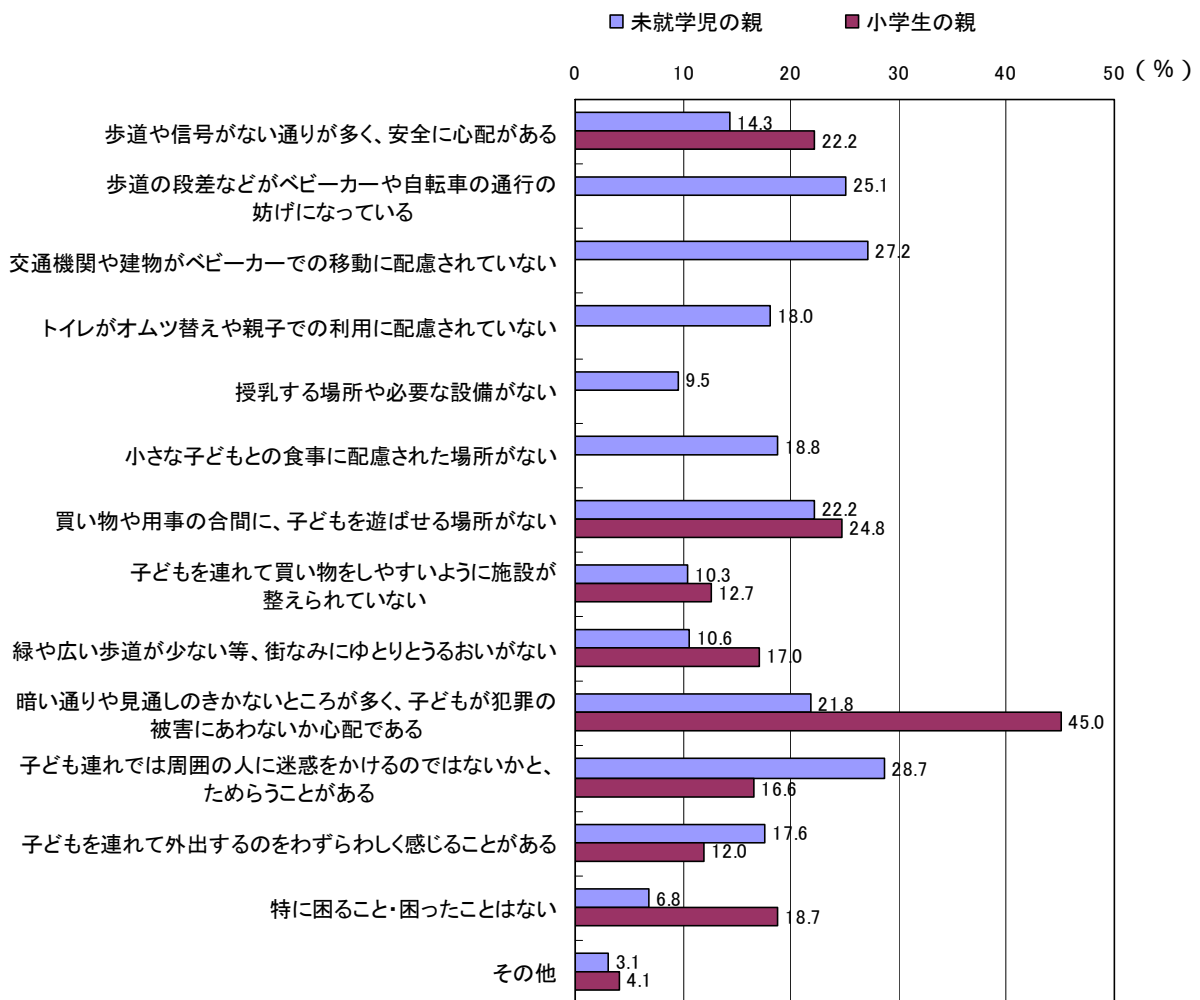
合計 未就学児の親 = 2,892、小学生の親 = 2,835

名古屋のまちの子育てへの配慮について 【問23】【問36】

お子さんと外出するとき、困ると感じていることやこれまで困ったことはなんですか。  
(3つまで)

未就学児の親の場合の不便なこととして「子ども連れでは周囲の人に迷惑をかけるのではないかと、ためらうことがある」(28.7%)、「交通機関や建物がベビーカーでの移動に配慮されていない」(27.2%)、「歩道の段差などがベビーカーや自転車の通行の妨げになっている」(25.1%)、「買い物や用事の合間に、子どもを遊ばせる場所がない」(22.2%)、「暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配である」(21.8%)などがあげられる。

小学生の親の場合は「暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配である」(45.0%)が最も多く、「歩道や信号がない通りが多く、安全に心配がある」(22.2%)、「買い物や用事の合間に、子どもを遊ばせる場所がない」(22.2%)などがあげられる。



回答数 未就学児の親 = 1,277、小学生の親 = 1,238

合計 未就学児の親 = 3,020、小学生の親 = 2,206

注 小学生の保護者への質問には「歩道の段差などがベビーカーや自転車の通行の妨げになっている」、「交通機関や建物がベビーカーでの移動に配慮されていない」、「トイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていない」、「授乳する場所や必要な施設がない」、「小さな子どもとの食事に配慮がない」、「買い物や食事の合間に、子どもを遊ばせる場所がない」の選択項目は入れていない。

## 名古屋市の子育て支援サービスについて 【問 24】

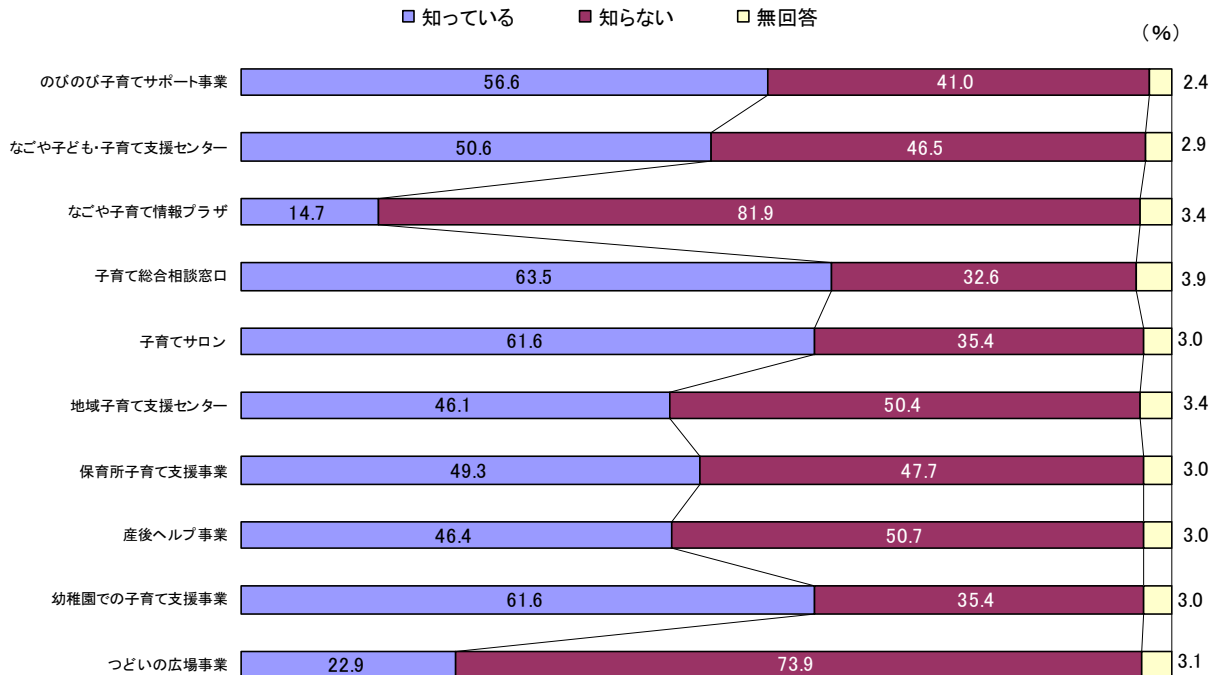
名古屋市が行う子育て支援サービスについてお答えください。

## A 事業の認知度

認知度（知っている割合）が最も高いのは、「子育て総合相談窓口」（63.5%）であり、次が「子育てサロン」（61.6%）、「幼稚園での子育て支援事業」（61.6%）である。

反対に知らない割合が高いのは「なごや子育て情報プラザ」（81.9%）、「つどいの広場事業」（73.9%）などである。

回答数 = 1,277



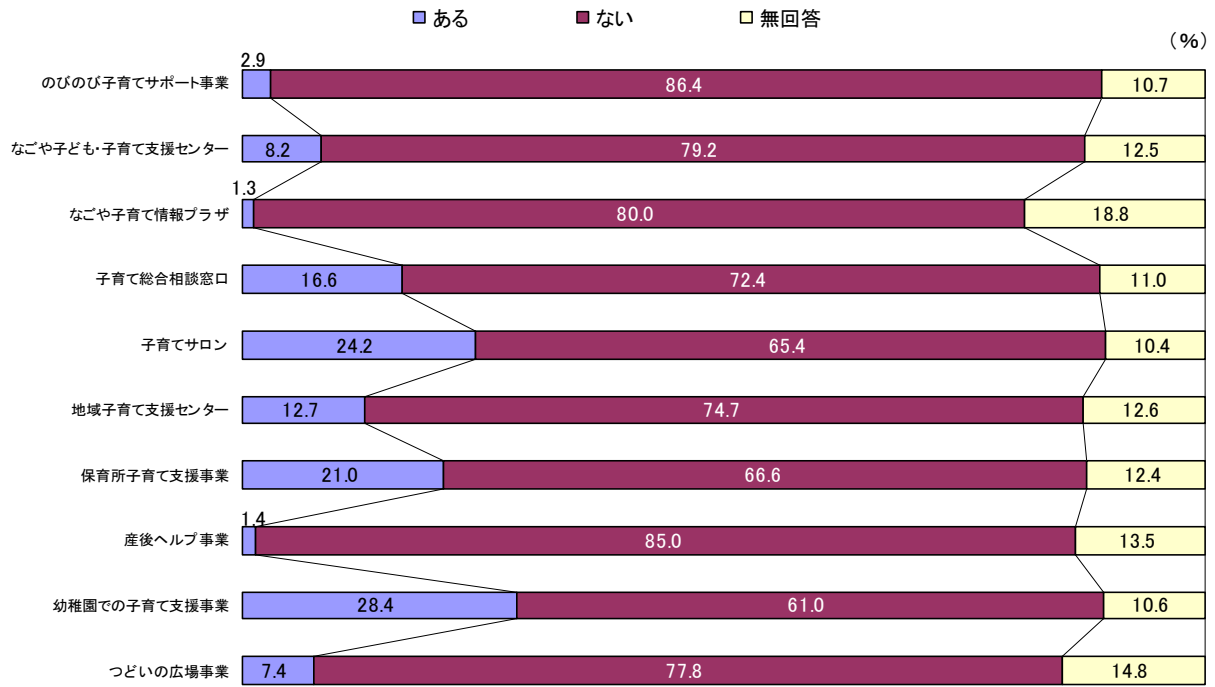
ア. のびのび子育てサポート事業	子育ての援助を行いたい方と受けたい方からなる会員組織により一時的に子育ての手助けをしあう制度
イ. なごや子ども・子育て支援センター（758キッズステーション）	子育て支援関係機関のネットワークづくりや子育てサークルへの支援などを行う子育て相談・交流のネットワークの拠点施設
ウ. なごや子育て情報プラザ	なごや子ども・子育て支援センター開設にともない廃止（平成19年9月）
エ. 子育て総合相談窓口	専任の保健師等が子育てに関する相談に応じる窓口で市内全保健所に設置
オ. 子育てサロン	初妊婦及び第1子の乳児を子育て中の親を対象に、育児不安の軽減を図るよう子育ての友だちづくりや情報交換を行う地域の子育て交流の場
カ. 地域子育て支援センター	地域における子育て家庭を総合的に支援するため保育所において専任の職員を配置し育児不安等の相談、子育てサークル等の支援、地域の子育て資源の情報提供などを行う事業
キ. 保育所子育て支援事業	地域子育て支援センター以外の保育所が地域の子育て中の親子を対象として行う子育て支援の事業（園庭開放、行事への招待、育児相談など）
ク. 産後ヘルプ事業	出産後の体調不良などにより家事・育児が困難な家庭にヘルパーを派遣し、家事・育児をお手伝いする制度
ケ. 幼稚園での子育て支援事業	幼稚園が未就園の親子に行う子育て支援の事業（園庭開放、遊びの会、子育て相談など）
コ. つどいの広場事業	主に0歳～3歳の親子が気軽に集い、相談・交流を図ることができる場を提供する事業

## B. 利用実績

利用実績の多い事業は、「幼稚園での子育て支援事業」(28.4%)「子育てサロン」(24.2%)「保育所子育て支援事業」(21.0%)などである。(45%以上)

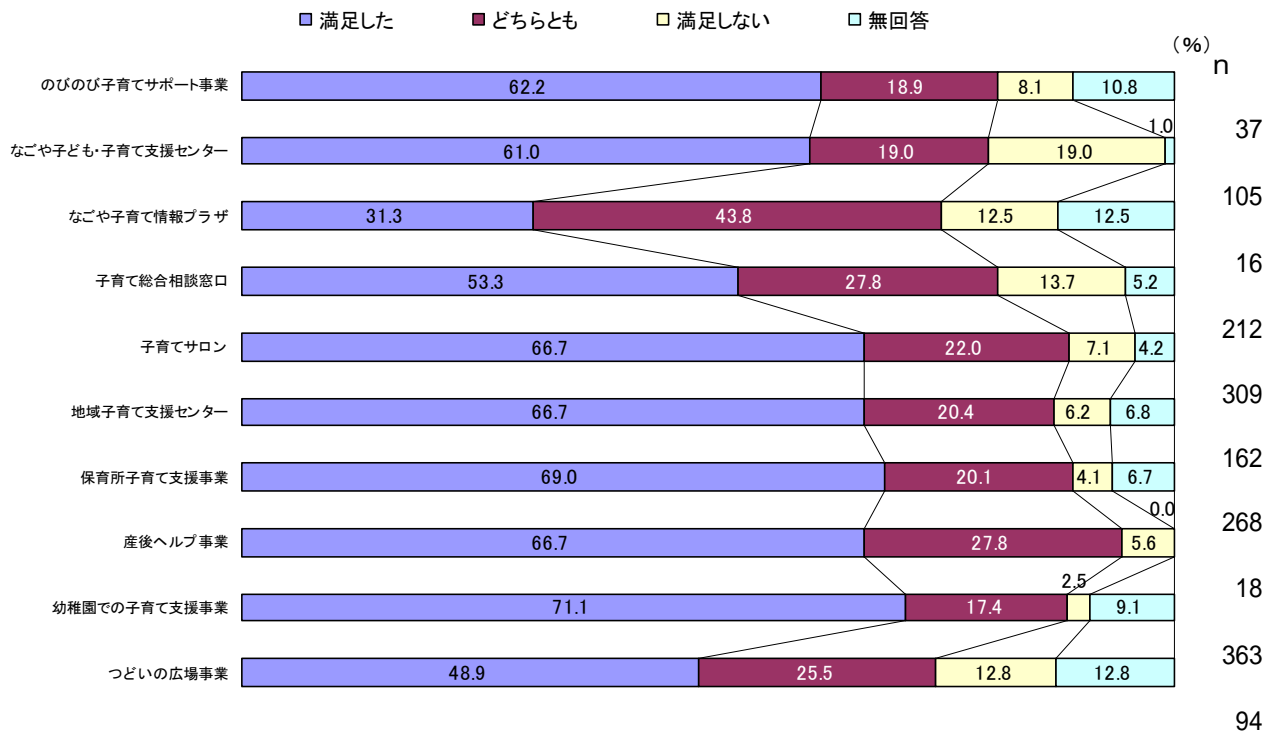
これに対して支援事業を利用したことがないとする回答が多い事業は、「のびのび子育てサポート事業」(86.4%)「産後ヘルプ事業」(85.0%)などである。

回答数 = 1,277



### C. 利用した結果の満足度

利用した満足度（満足した割合）が高い事業として、「幼稚園での子育て支援事業」（71.1%）や「保育所子育て支援事業」（69.0%）があげられる。その他の事業についてもおおむね 6 割を超える満足度が得られている。

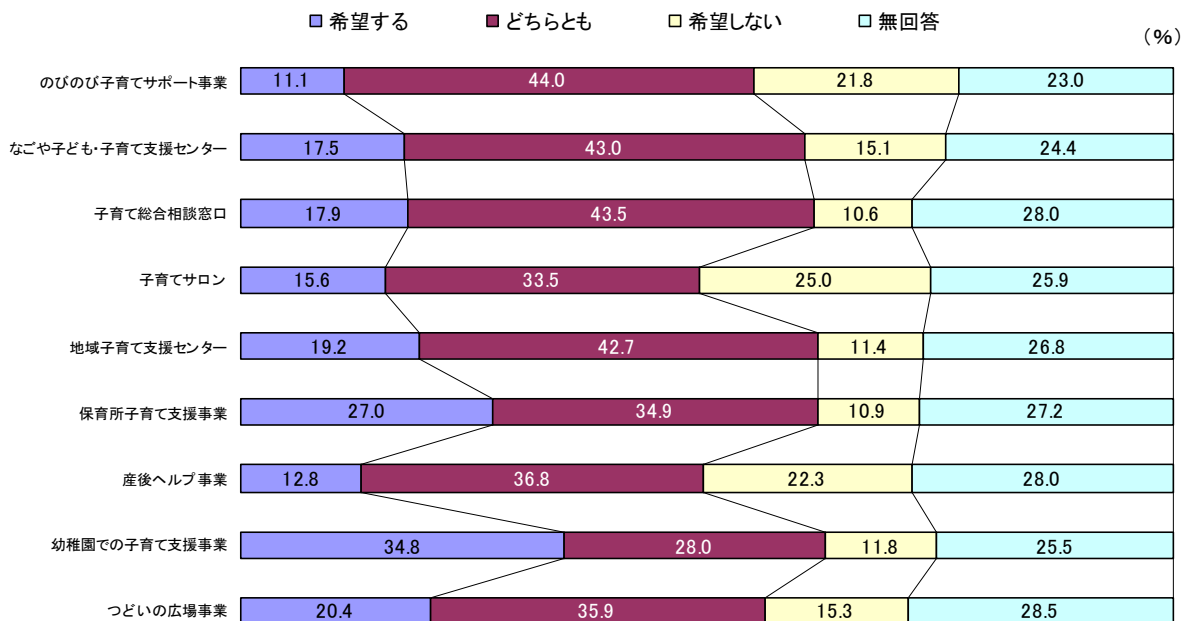


### D 今後の利用希望

今後の利用希望では、「希望する」割合が 2 割前後である。

反対に「希望しない」割合は、「子育てサロン」（25.0%）、「産後ヘルプ事業」（22.3%）、「のびのび子育てサポート事業」（20.4%）などで高くなっている。

回答数 = 1,277



家事・子育ての分担について 【問25】【問37】

ご両親の家事・子育ての分担はどのように行っていますか。

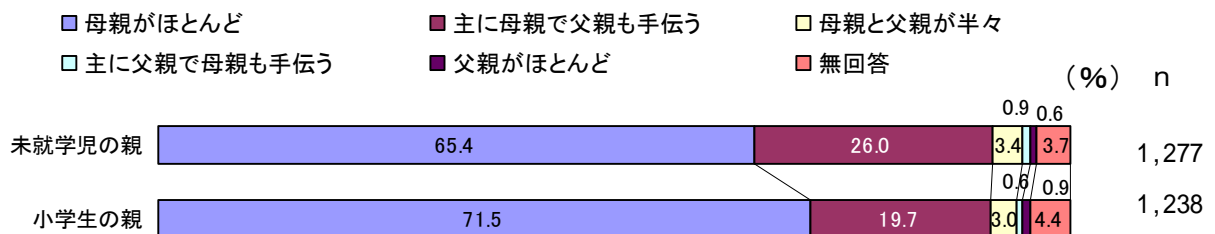
家事・子育てについては、小学生の親ではすべての項目で「母親がほとんど」の割合が圧倒的に高いが、未就学児の親は小学生の親に比べると「主に母親で父親も手伝う」の比率も高くなっており、特に「行事などの参加」や「お子さんの身の回りの世話」の項目で高い。

「主に母親で父親も手伝う」の項目別順位

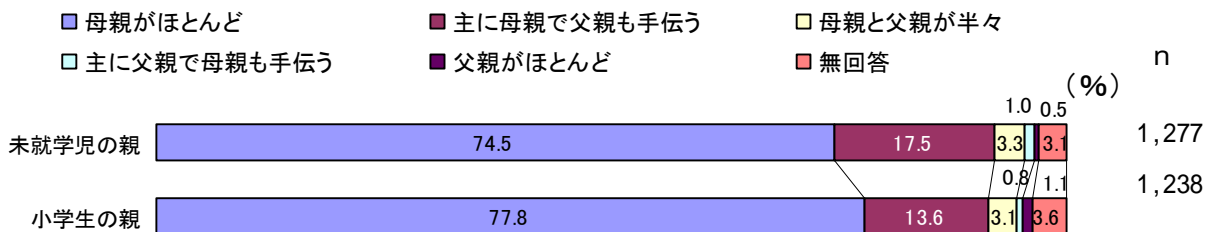
項目順位	参加率%	項目順位	参加率%
1. お子さんの身の回りの世話	40.7 (22.2)	5. 部屋の掃除	17.5 (13.6)
2. 行事などの参加	39.9 (4.5)	6. 炊事	13.2 (10.7)
3. 病気になったときの看護	30.8 (20.1)	7. 塾や習い事の送迎	11.4 (16.3)
4. 日常の買い物	26.0 (19.7)	8. 洗濯	10.5 (7.5)

( )内は小学生の親の場合

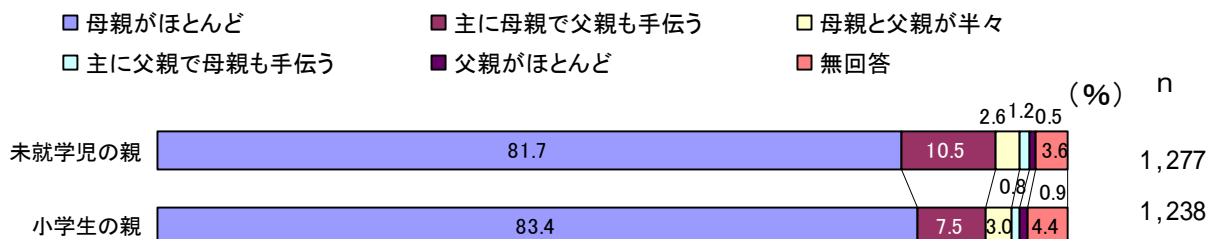
ア. 日常の買い物



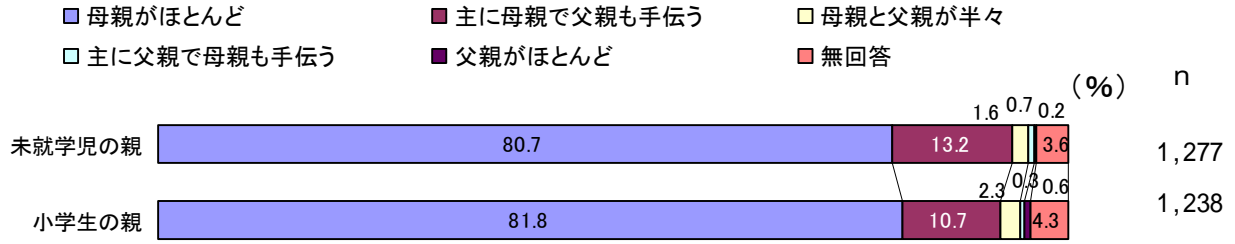
イ. 部屋の掃除



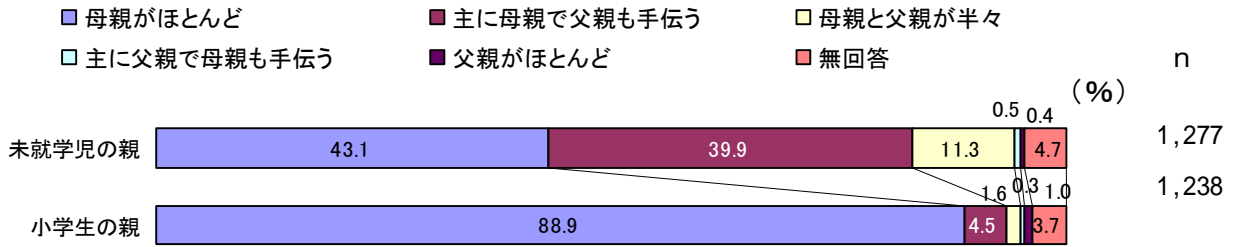
ウ. 洗濯



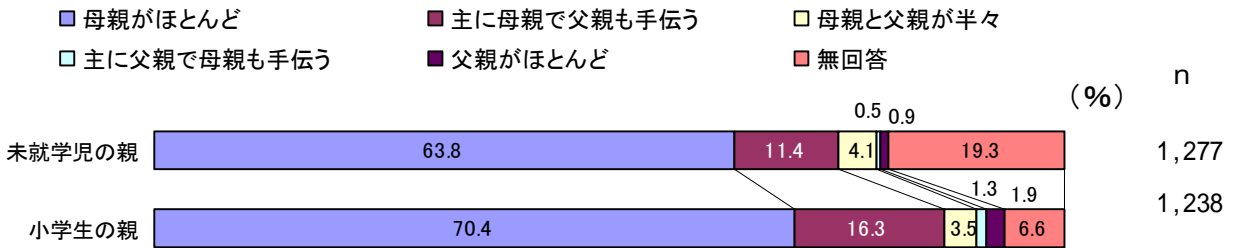
エ．炊事



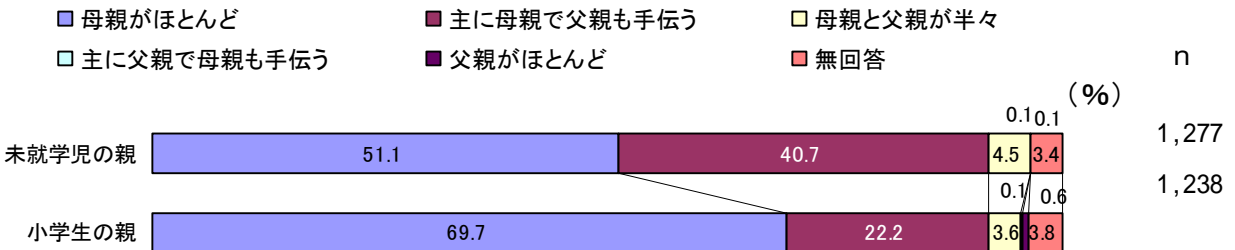
オ．行事などの参加



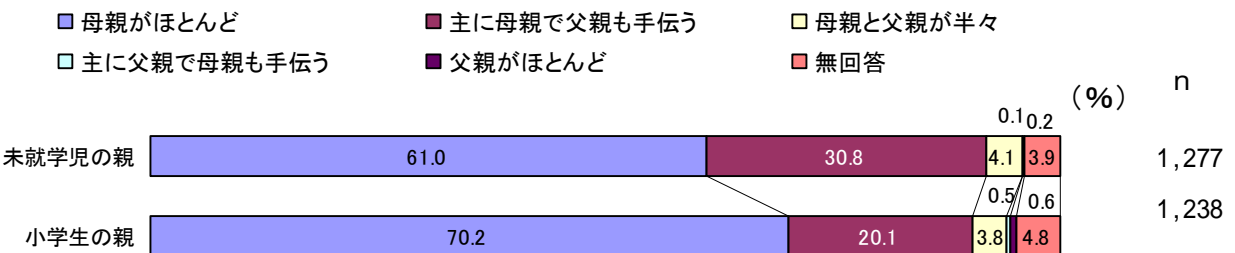
カ．塾や習い事の送迎



キ．お子さんの身の回りの世話



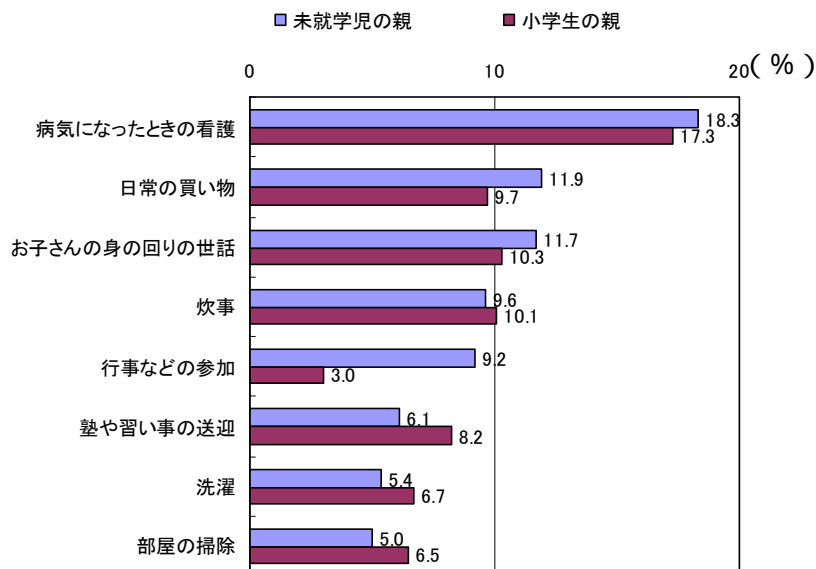
ク．病気になったときの看護



## 祖父母の援助

祖父母の援助が特に多いのは「病気になったときの看護」であり、未就学児の親で18.3%、小学生の親で17.3%である。

次に多いのは、未就学児の親の場合「日常の買い物」「お子さんの身の回りの世話」、小学生の親の場合は「お子さんの身の回りの世話」「炊事」である。



就学前

## 保育サービスの利用状況について 【問 26】

(1) お子さんは、保育サービスを利用していますか。

保育サービスは55.2%の方に利用されている。

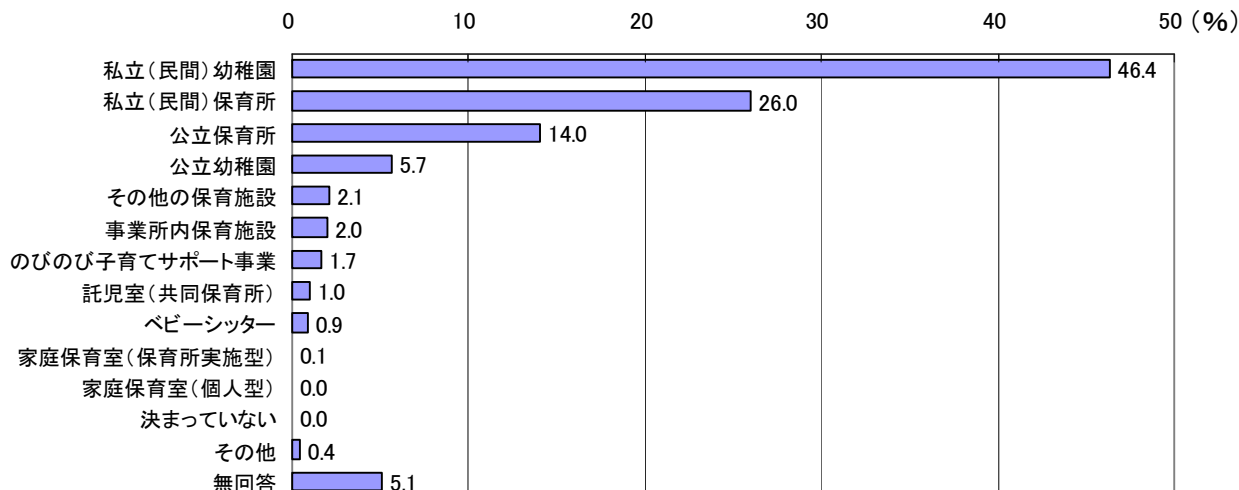
回答数 = 1,277



(2) 利用されている保育サービスをお答えください。(複数回答)

民間の利用が72.4%を占めており、私立(民間)幼稚園(46.4%)、私立(民間)保育所(26.0%)の利用がある。次が公立保育所、公立幼稚園、合わせて19.7%である。

回答数 = 705 合計 = 743

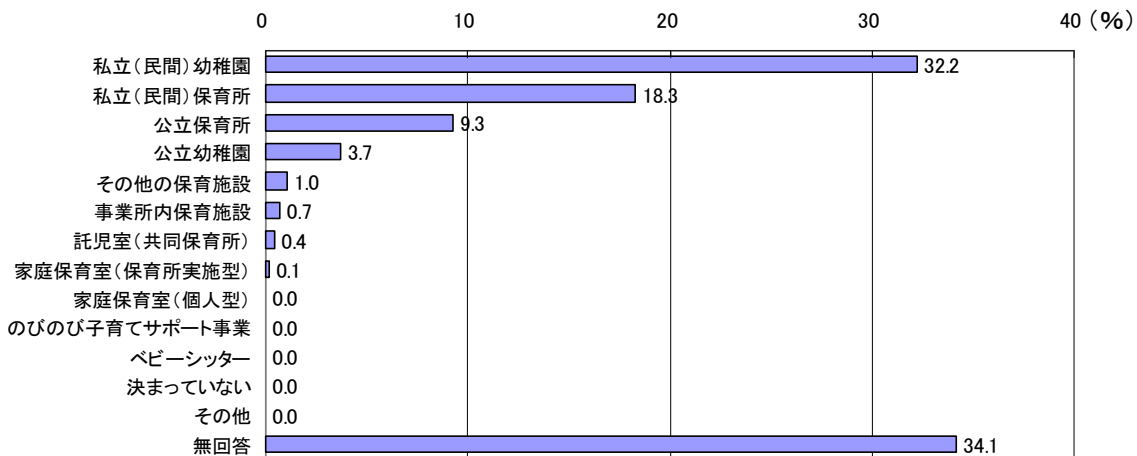




(2) -1 最も多く利用されている保育サービスをお答えください。

私立(民間)幼稚園(32.2%)、私立(民間)保育所(18.3%)の利用が多い。また、次が公立保育所(9.3%)、公立幼稚園(3.7%)である。

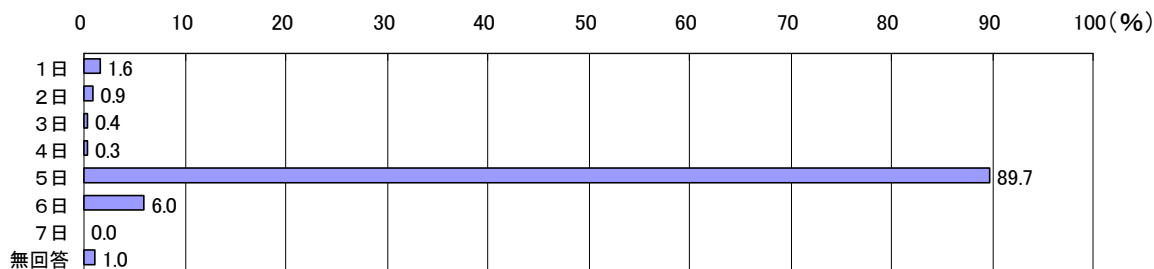
回答数 = 668



(2) -1 1週間あたりの利用日数をお答えください。

1週間の中で、週5日の利用が89.7%、6日利用が6.0%である。

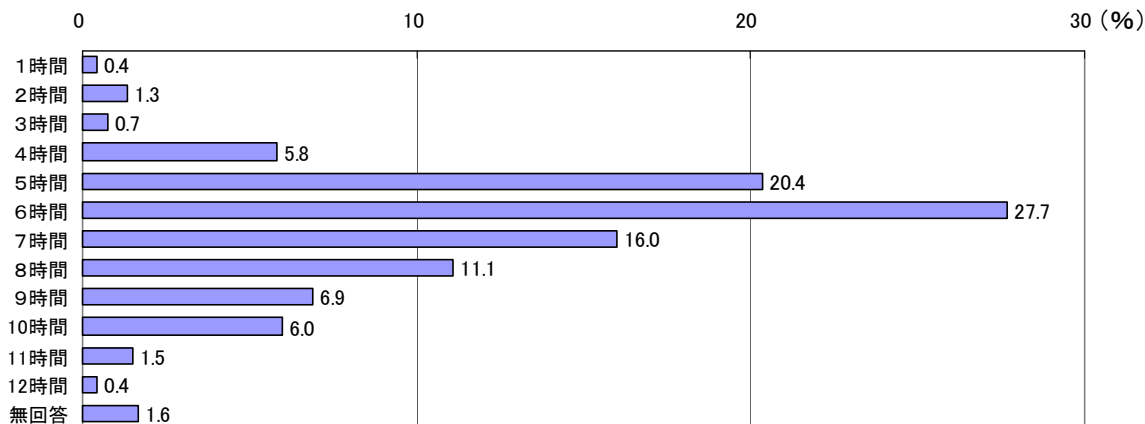
回答数 = 668



(2) -1 1日あたりの利用時間をお答えください。

最も多いのが6時間の利用であり、5時間から8時間の利用を合わせると75.2%になる。また、短時間の利用として3時間未満をみると2.4%である。

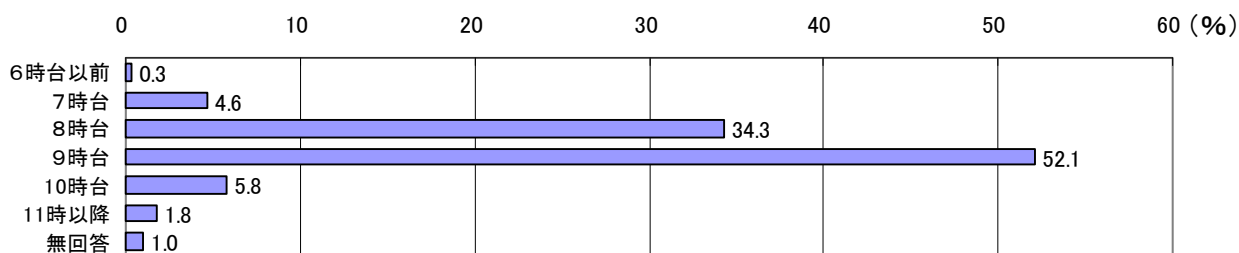
回答数 = 668



( 2 ) -1 利用開始時間をお答えください。

利用開始時間は9時台が最も多く、次が8時台であり、この2時間帯で全体の86.4%になる。

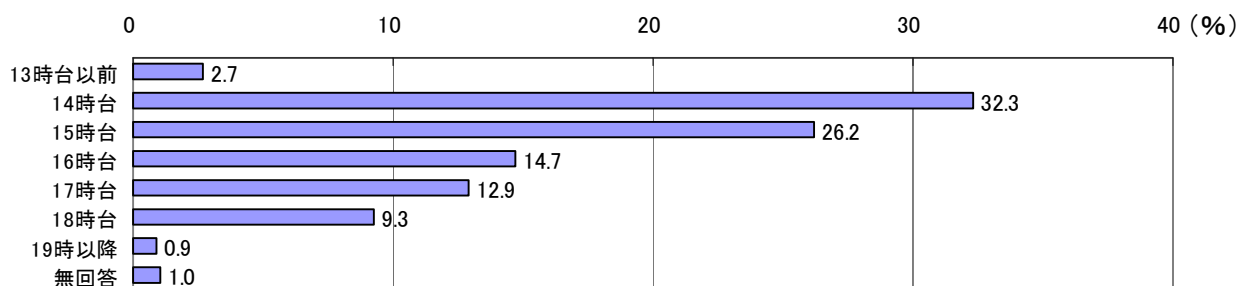
回答数 = 668



( 2 ) -1 利用終了時間をお答えください。

利用終了の時間は14時台が最も多く、次が15時台であり、比較的早い時間帯での利用になっている。また、遅い時間帯での利用は少なく、19時以降は1%程度である。

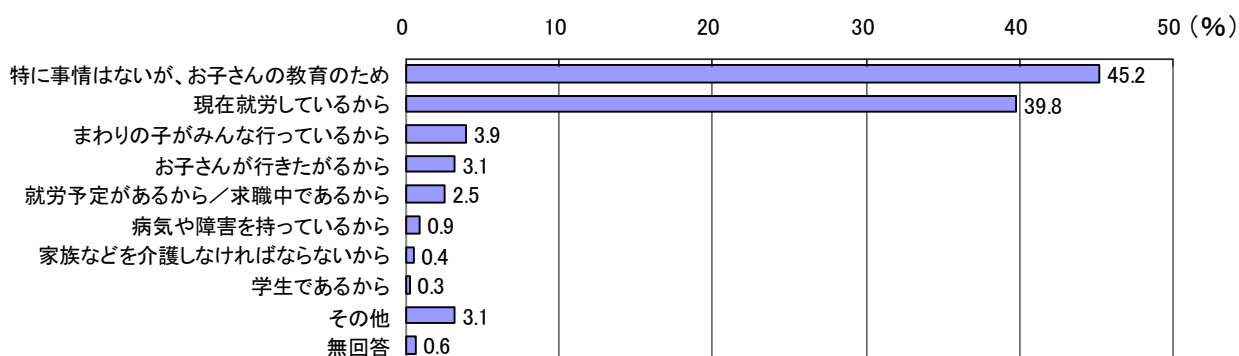
回答数 = 668



( 3 ) 最も多く利用している保育サービスの利用の理由はなんですか。

利用理由で最も多いのが「特に事情はないが、お子さんの教育のため」(45.2%)であり、次が「現在就労しているから」(39.8%)を理由としている人が多い。

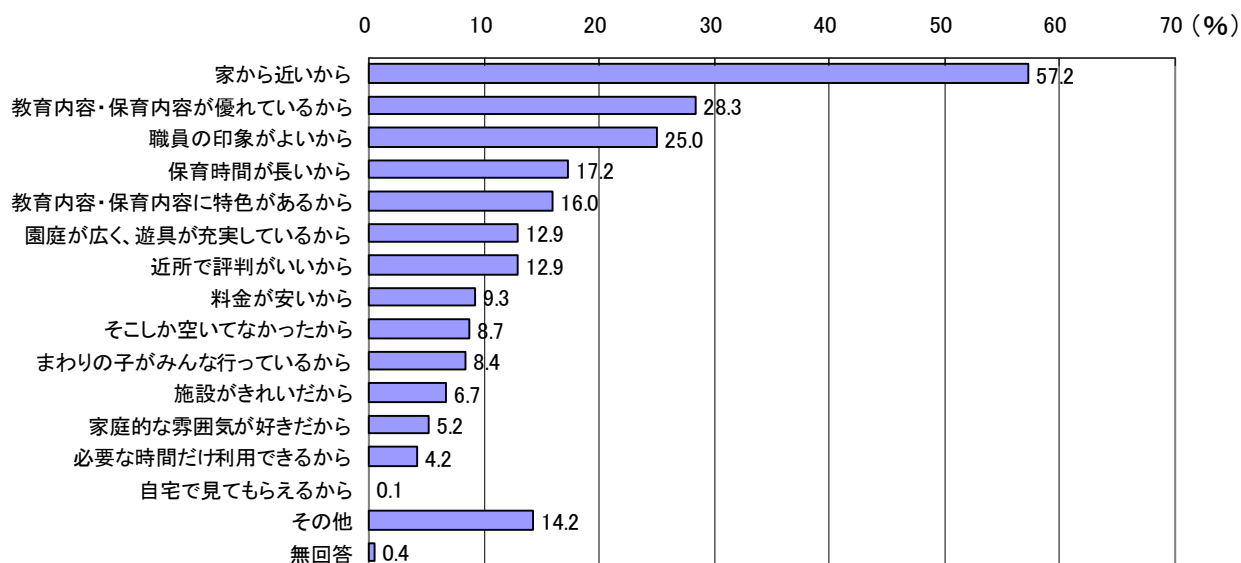
回答数 = 668



(4) 最も多く利用している保育サービスを選んだ理由はなんですか。(3つまで)

主な選択理由として「家が近いから」(57.2%)、「教育内容・保育内容が優れているから」(28.3%)、「職員の印象がよいから」(25.0%)などがあげられる。

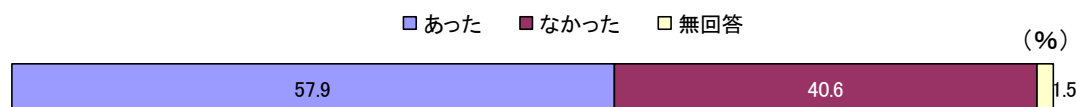
回答数 = 668 合計 = 1,515



(5) 最も多く利用している保育サービスを病気等で利用できなかったことはありますか。

病気等で利用できなかったことがある割合は57.9%である。

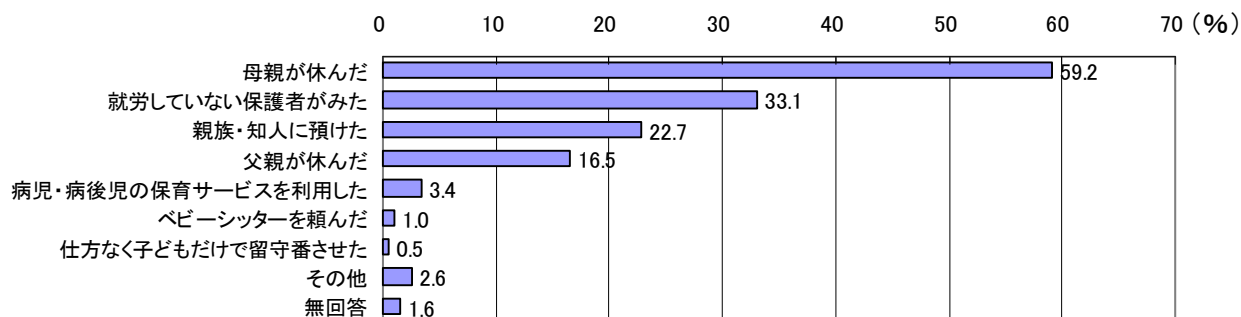
回答数 = 668



(5) -1 病気等で利用できなかった場合どのように対応しましたか。(複数回答)

病気等で利用できなかった場合、「母親が休んだ」(59.2%)が最も多く、以下「就労していない保護者がみた」(33.1%)、「親戚・知人に預けた」(22.7%)、「父親が休んだ」(16.5%)があげられる。

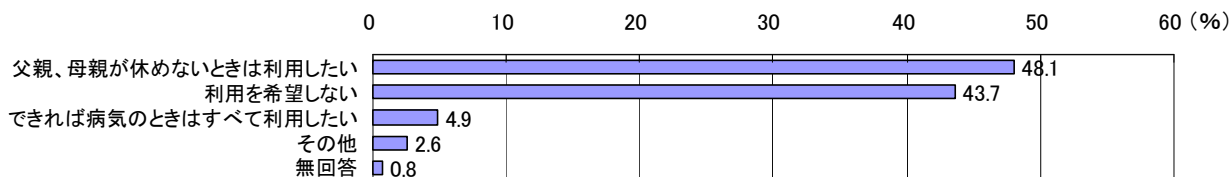
回答数 = 387 合計 = 544



( 5 ) -2 病気のお子さん対象の保育サービスを利用したいと思われませんか。

保育サービスの利用は「父親、母親が休めないときは利用したい」(48.1%) が最も多く、逆に「利用を希望しない」とする人も43.7%存在する。

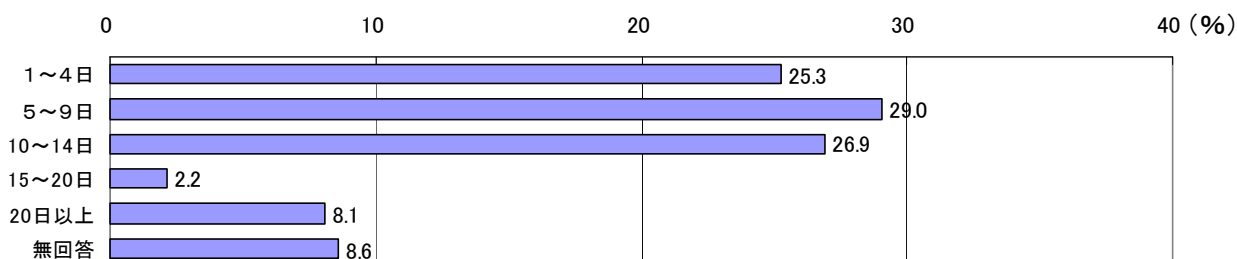
回答数 = 387



( 5 ) -2 母親・父親が休めない場合のサービス利用希望日数をお答え下さい。

1日から2週間の範囲での利用希望が多く、合わせて81.2%になる。中でも、5~9日が最も多く、29.0%となっている。

回答数 = 186

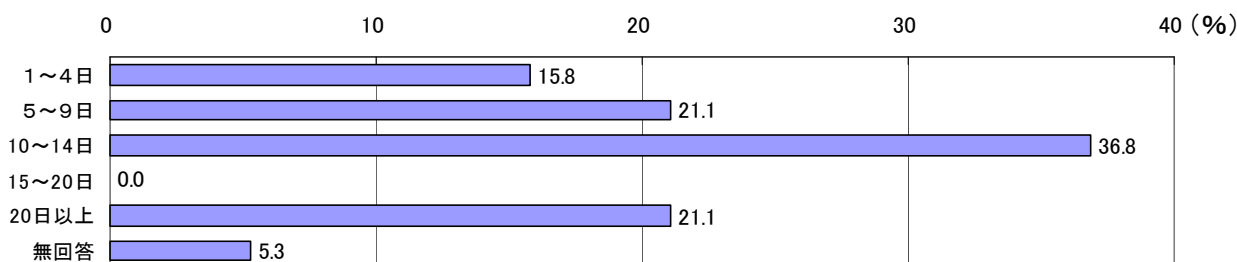


(注) 無回答は0日を含む値である。

( 5 ) -2 病気のときすべて利用したい場合のサービス利用希望日数をお答え下さい。

10~14日が最も多く36.8%、次が5~9日、20日以上がともに21.1%である。

回答数 = 19

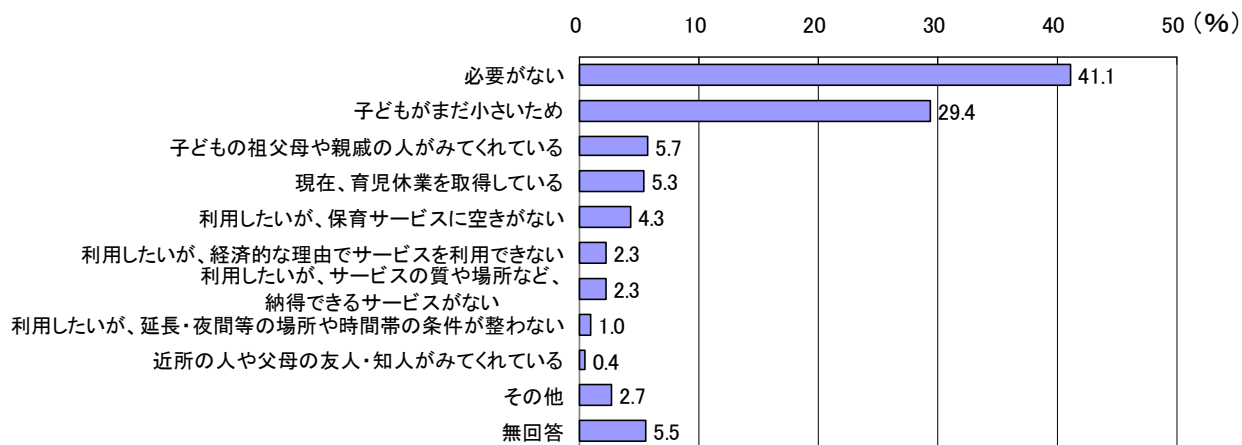


(注) 無回答は0日を含む値である。

( 6 ) 現在保育サービスを利用していない理由は何ですか。

現在利用していない理由として特に2つの理由があげられており、「必要がない」(41.1%)、「子どもがまだ小さいため」(29.4%)である。

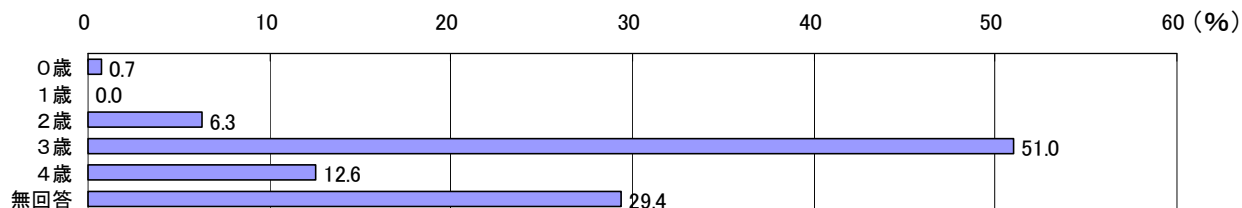
回答数 = 487



( 6 ) 1 子どもがまだ小さいが、ある程度の年齢になったら利用を希望する場合の利用開始予定年齢をお答え下さい。

子どもがある程度の年齢になったら利用を希望する場合の利用開始の年齢で最も多いのが「3歳」であり、51.0%である。また、2歳以下では7.0%である。

回答数 = 143



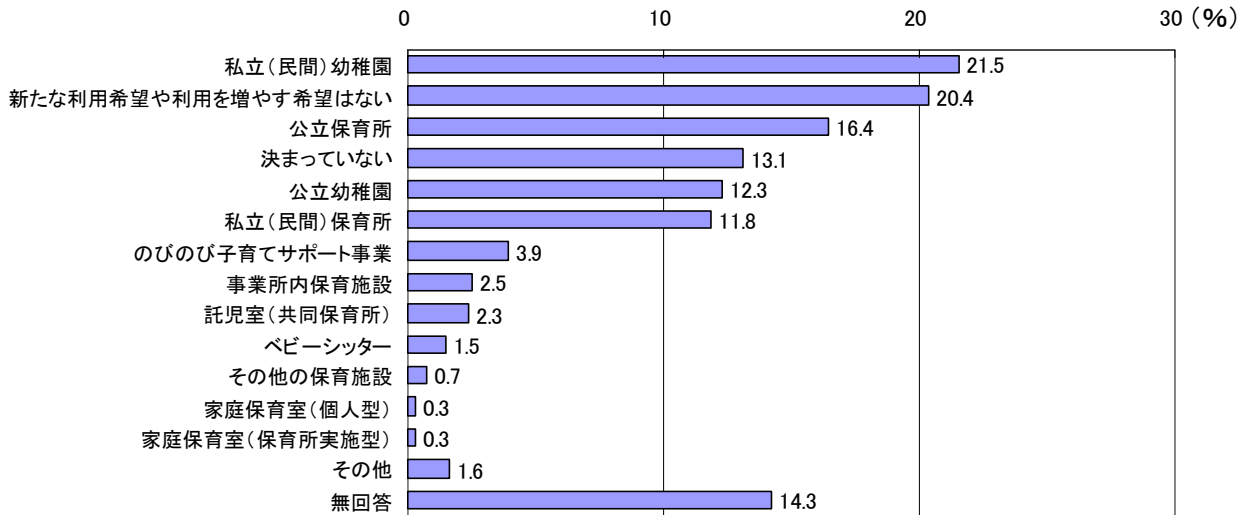
## 今後の保育サービスの利用希望について 【問 27】

( 1 ) 今後、利用を希望する保育サービスをお答え下さい。( 2 つまで)

今後、新たな利用希望や利用を増やす希望を施設ごとでみると、私立(民間)幼稚園が 21.5% で最も多く、次が公立保育所の 20.4% である。

なお、「新たな利用希望や利用を増やす希望はない」と回答した割合は 20.4% である。

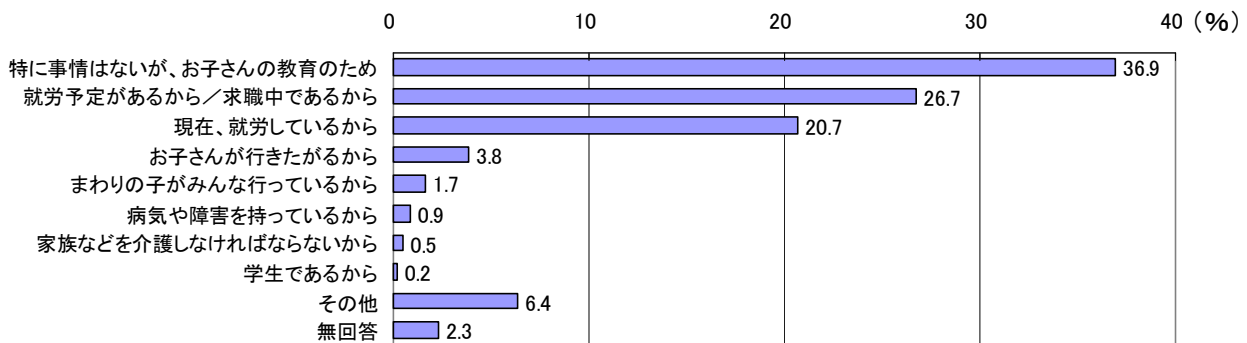
回答数 = 1,277 合計 = 1,575



( 2 ) 今後、その保育サービスの利用を希望する理由をお答え下さい。

利用希望理由は主に 3 つであり、「特に事情はないが、お子さんの教育のため」( 36.9% )、「就労予定があるから / 求職中であるから」( 26.7% )、「現在、就労しているから」( 20.7% ) があげられる。

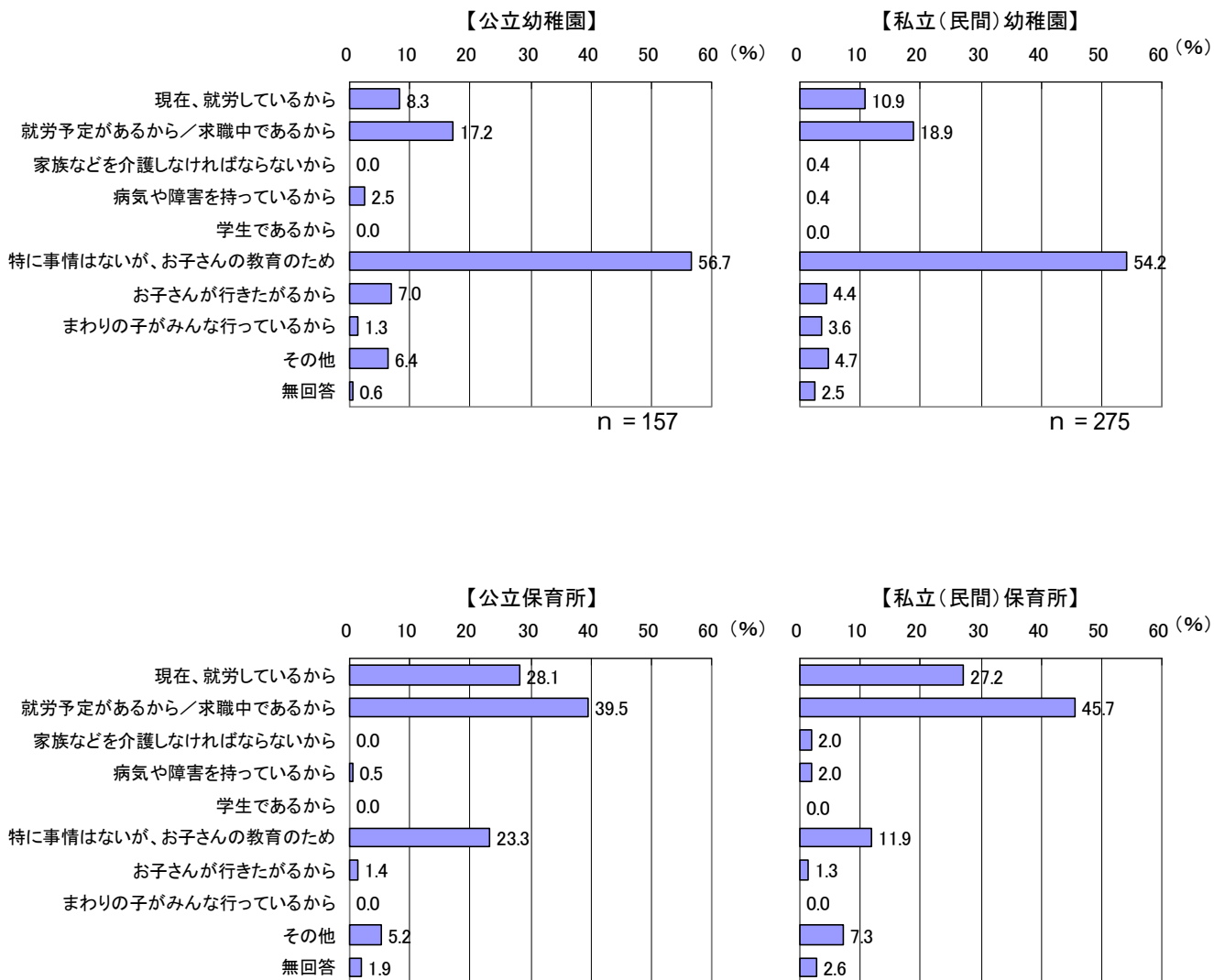
回答数 = 658

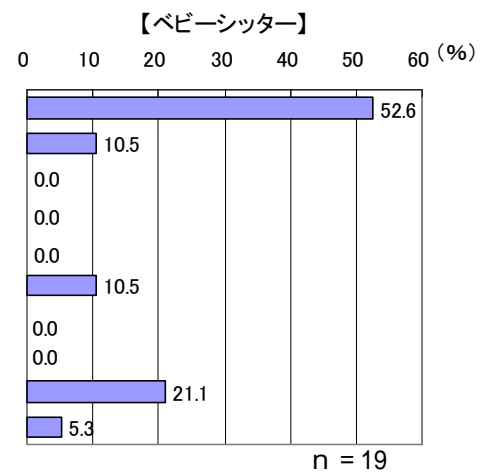
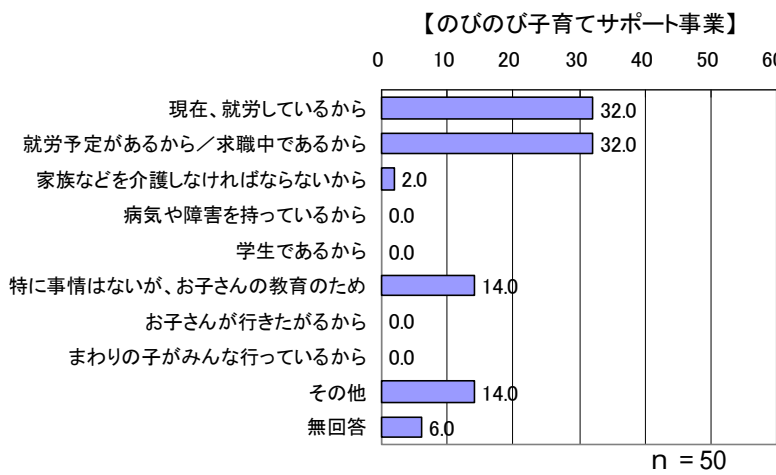
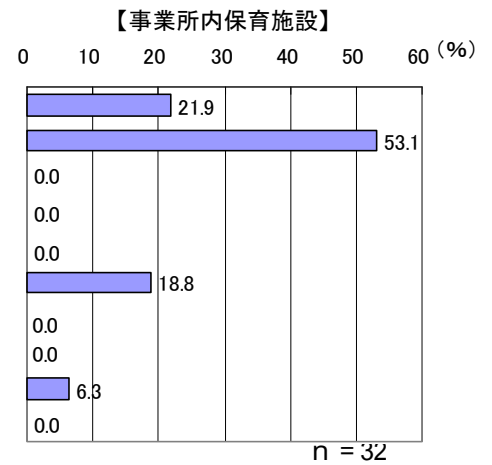
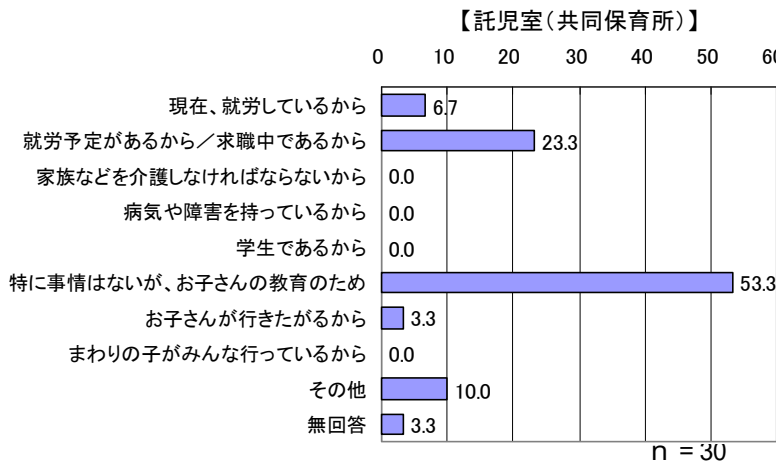


## 利用希望施設別の希望理由

回答数が多い幼稚園、保育所について主な理由をみると、幼稚園の利用理由は、公立も私立も「特に事情はないが、お子さんの教育のため」が最も多く、保育所では「就労予定があるから／求職中であるから」が最も多い。

また、事業所内保育施設の利用については、就労予定があるから／求職中であるから、や「現在、就労しているから」などが主な理由としてあげられる。





(注) 回答数の少ない家庭保育室(個人型)、家庭保育室(保育所実施型)、その他の保育施設、その他については(0人未満のため)内訳を割愛した。

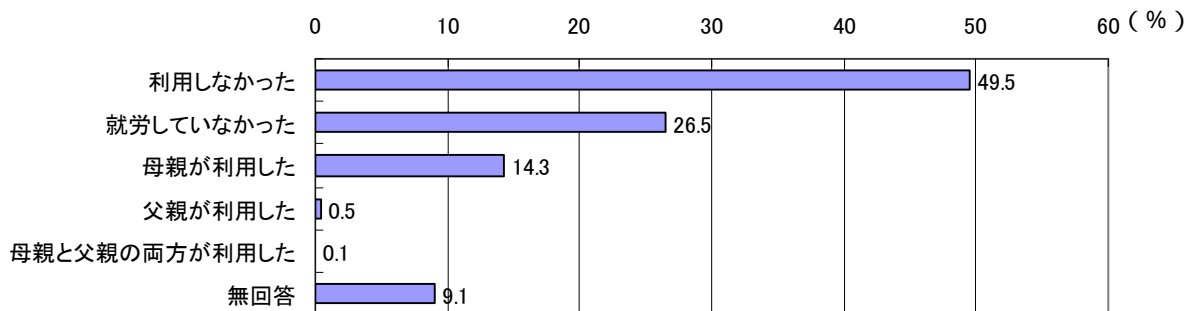


## 育児休業の取得について 【問28】

(1) 母親又は父親が育児休業を取得されましたか。

半数(49.5%)が「利用しなかった」である。育児休暇を利用した割合は14.9%であり、そのほとんどは「母親が利用した」(14.3%)である。また、「就労していなかった」は全体の約4分の1(26.5%)である。

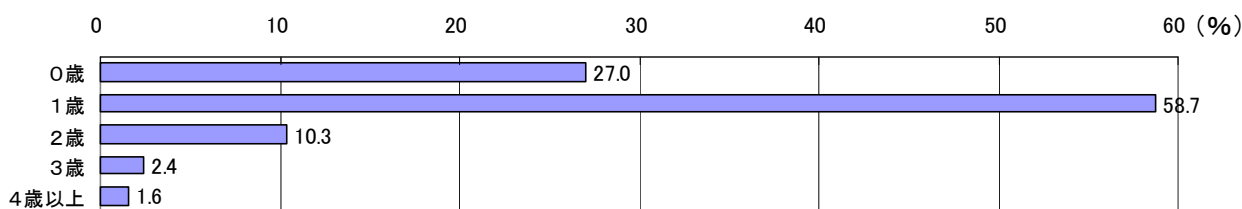
回答数 = 1,277



母親が育児休業から仕事に復帰したときのあて名のお子さんの年齢

1歳が最も多く58.7%、0歳が27.0%であり、2歳・3歳は合わせて12.7%程度である。

回答数 = 126



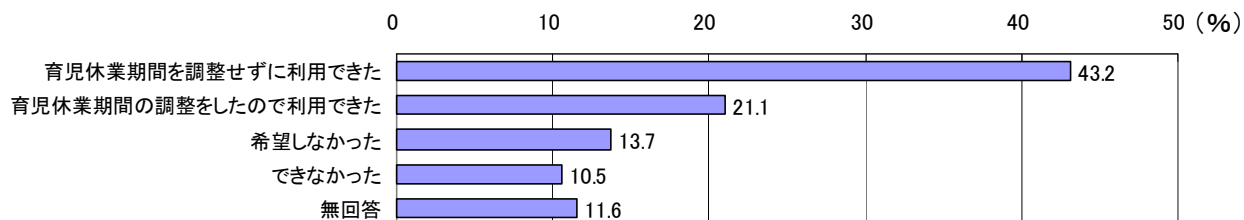
父親が育児休業から仕事に復帰したときのあて名のお子さんの年齢

父親の育児休業は5人で、内訳は0歳2人、1歳1人、4歳以上2人である。

(2) 育児休業明けに希望する保育サービスを利用できましたか。

「育児休業期間を調整せずに利用できた」(43.2%)、「育児休業期間の調整をしたので利用できた」(21.1%)であり、保育サービスを「希望しなかった」「利用できなかった」が24.2%である。

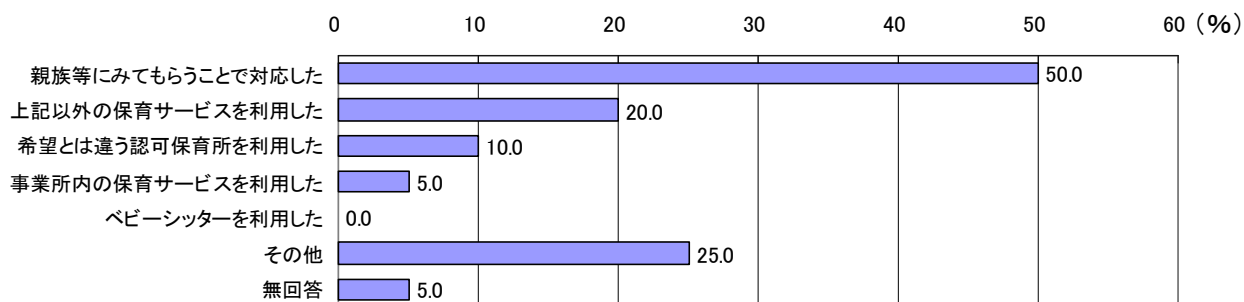
回答数 = 190



(3) 育児休業明けに希望する保育サービスの利用できなかった場合はどのように対応されましたか。(複数回答)

「親等にみてもらうことで対応した」が半数(50%)で最も多い。

回答数 = 20 合計 = 23



## 休日の保育サービスの利用希望について 【問 29】

(1) 土曜日の利用希望についてお答え下さい。

土曜日の利用希望者は 23.7% (月に1~2回は利用、ほぼ毎週利用したい) である。

回答数 = 1,277

■ 利用希望はない ■ ほぼ毎週利用したい □ 月に1~2回は利用したい □ 無回答

(%)



月の利用頻度の相違による時間帯の相違は若干みられるものの、昼間時間帯の利用の需要がある。

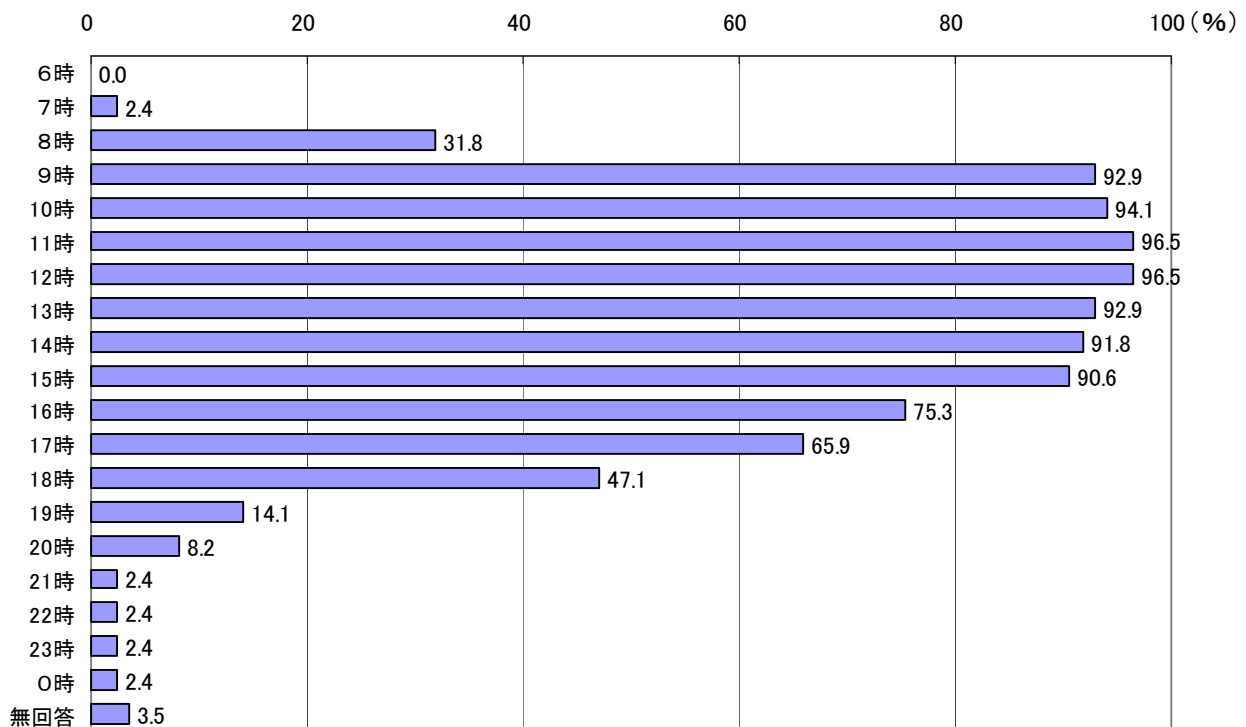
	第1位の時間帯	第2位の時間帯	第3位の時間帯
毎週	9-18 22.4%	9-15 11.8%	8-18 9.4%
月に1~2回	9-15 16.6%	9-17 13.4%	9-18 12.4%

## 土曜日 毎週利用の希望時間

各時間の利用希望割合では9時から15時で9割を超える。

また、朝の7時台、21時以降では5%未満である。

回答数 = 85 合計 = 776

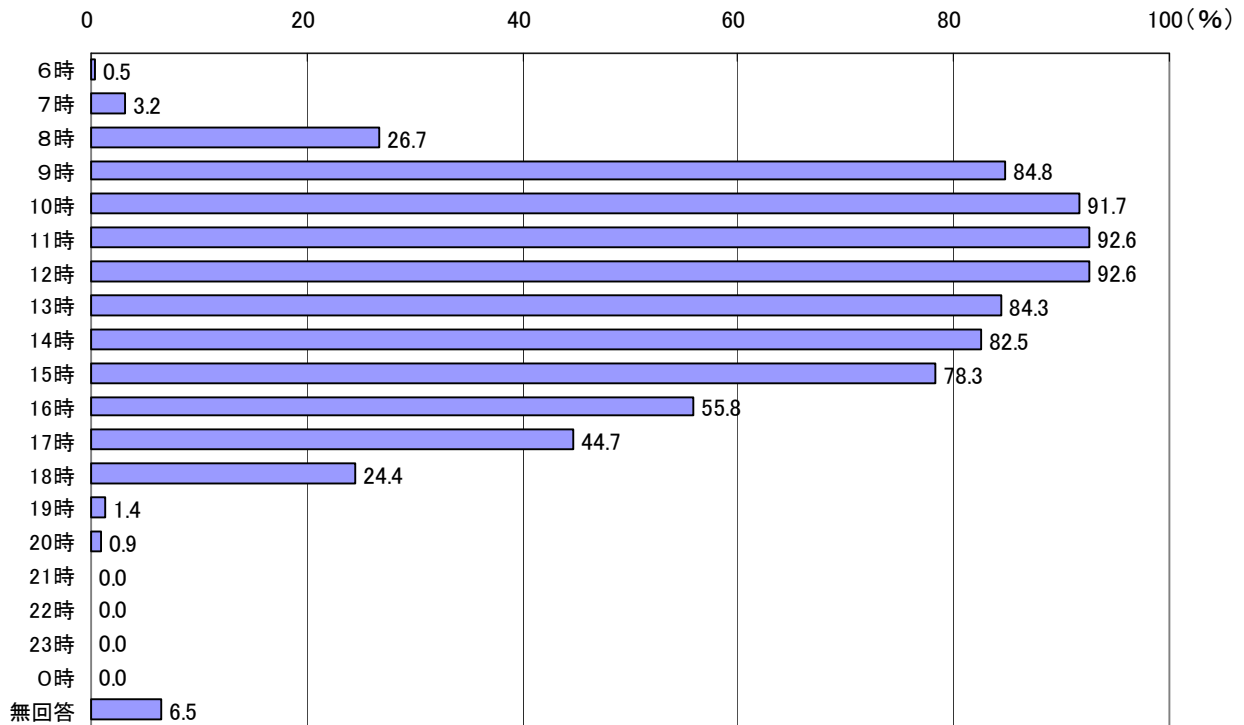


土曜日 月1~2回利用の希望時間

各時間の利用希望割合では10時から12時で9割を超え、9時台、14時から5時台で8割を超える。

また、朝の7時台、19時以降では4%未満である。

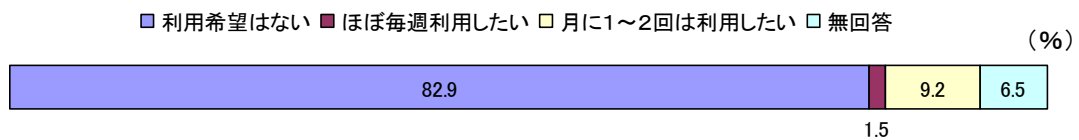
回答数 = 217 合計 = 1,673



(2) 日曜日の利用希望についてお答え下さい。

利用希望は月に1~2回が9.2%、ほぼ毎週利用したいが1.5%であり、土曜日より利用希望は半減する。(土曜日の利用希望は23.7%)

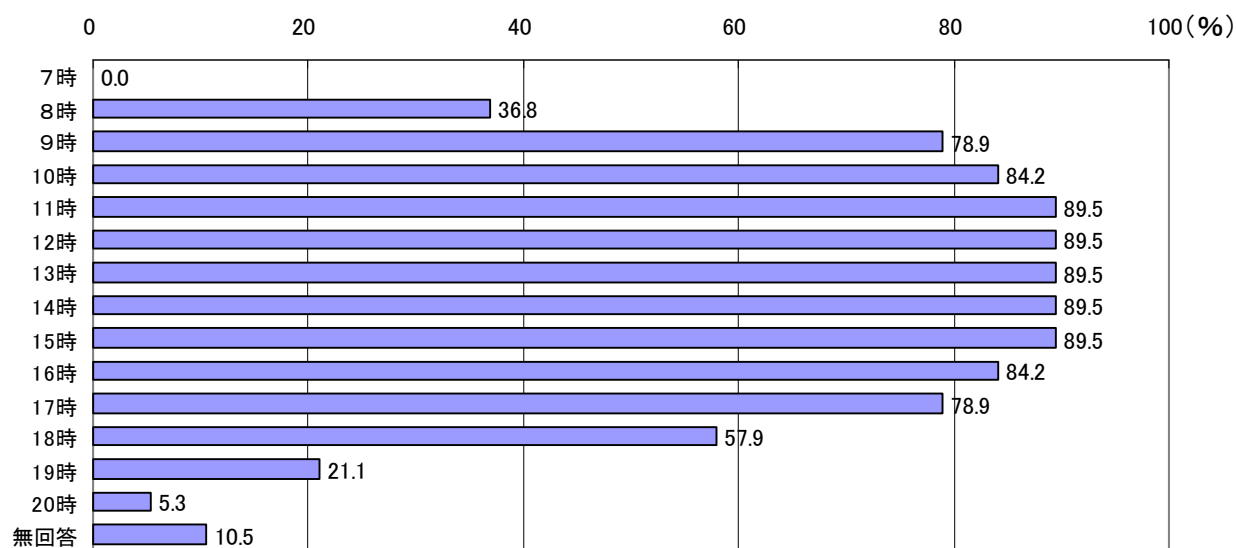
回答数 = 1,277



日曜日 毎週利用の希望時間

各時間の利用希望割合では11時から15時で9割を超える。  
また、19時以降では21%以下である。

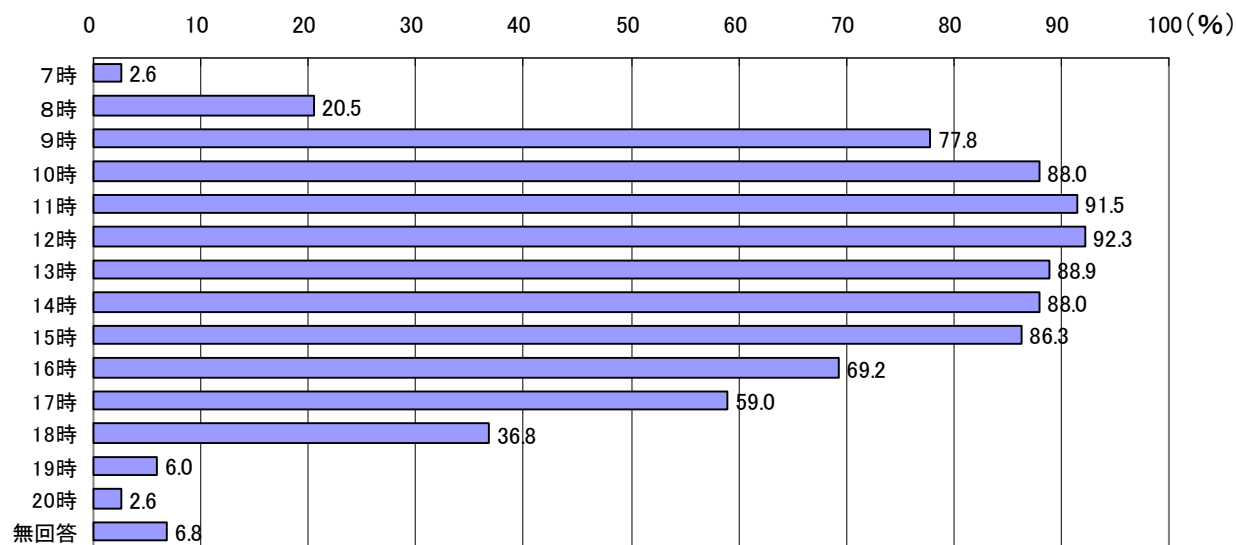
回答数 = 19 合計 = 172



口唯口 月1、2回利用の希望時間

各時間の利用希望割合では10時から15時で8割を超える。  
また、19時以降では6%以下である。

回答数 = 117 合計 = 955



## 子どもの一時預かりについて 【問 30】

(1) この1年間に、お子さんを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありましたか。

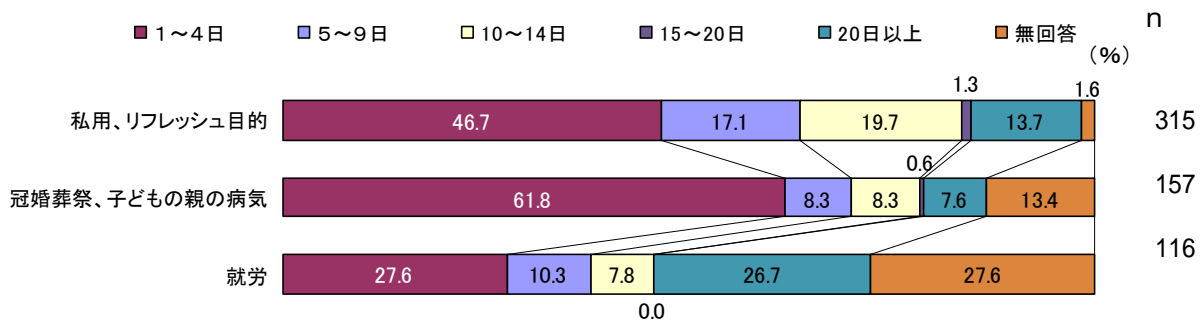
一時的に預けたことがある人は32.7%である。

回答数 = 1,277



### 1年間の一時的に預けた日数

「私用、リフレッシュ目的」、「冠婚葬祭、子どもの病気」の場合は1～4日が最も多いが、「就労」の場合は1～4日のほか20日以上の割合も高い。



(注) 無回答は0日を含む値である。

(2) 一時預かりの事業を利用希望したいと思いますか。

全体の62.2%は利用を希望している。

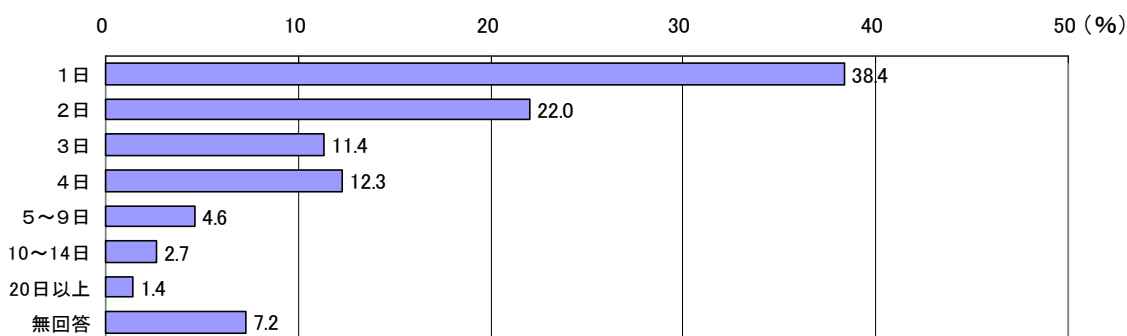
回答数 = 1,277



1年間の一時的預かりの利用希望日数

「1日」、「2日」の割合が特に高く、1～2日で60.4%を占める。

回答数 = 414



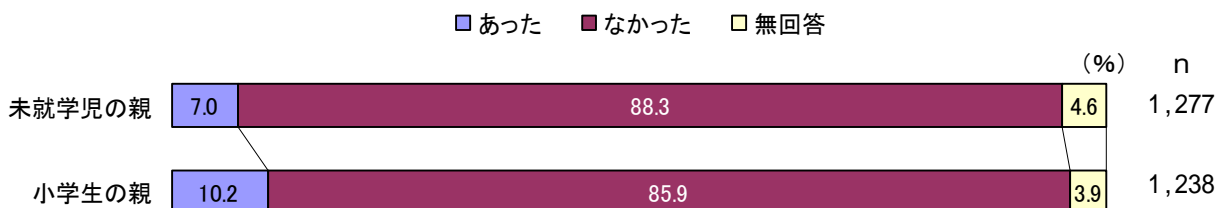
(注) 無回答に0日を含む値である。

就学前 小

**宿泊をともなう子どもの一時預かりについて 【問31】【問45】**

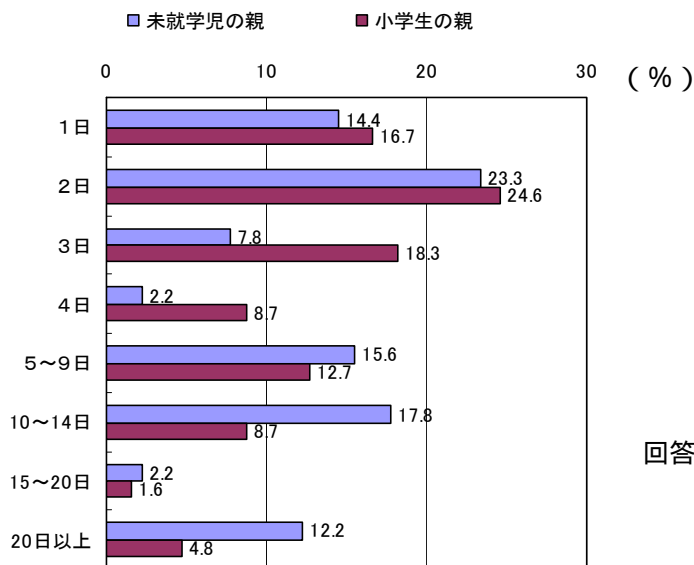
この1年間に保護者の用事などにより、お子さんを泊りがけで家族以外に預けなければならないことはありましたか。

この1年間に宿泊をともない、一時的に預けたことがある人は未就学児で7.0%、小学生で10.2%である。



1年間に宿泊をともない一時的に預けた日数

一時的に預けた日数は2日が特に多く未就学児で23.3%、小学生で24.6%、10日未満では未就学児で63.3%、小学生で81.0%である。



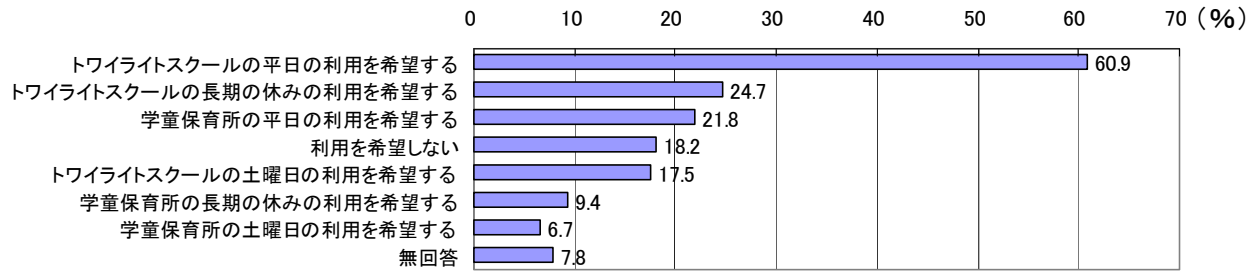
回答数 未就学児の親 = 90  
小学生の親 = 126

### 小学校入学後の放課後の過ごし方について 【問 32】

学童保育所やトワイライトスクールを利用したいと思いますか。(複数回答)。

「トワイライトスクールの平日の利用を希望する」(60.9%)が最も多く、次が「トワイライトスクールの長期の休みの利用を希望する」(24.7%)であり、「トワイライトスクールの土曜日の利用を希望する」(17.5%)を含めて、トワイライトスクールの利用希望が多い。

回答数 = 1,277 合計 = 2,132



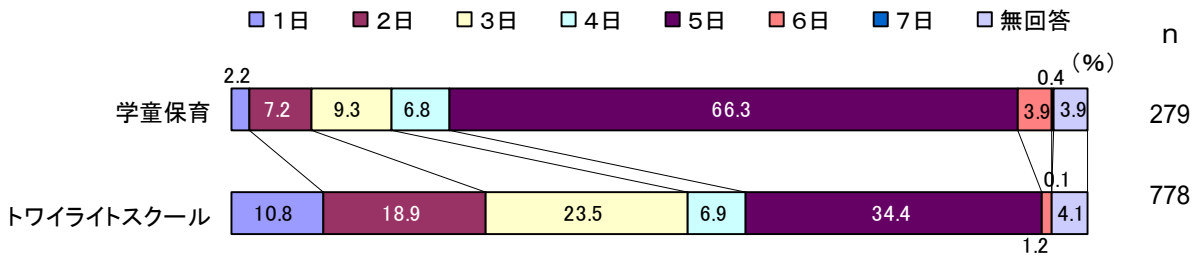
#### 【利用希望日数】

利用希望日数が最も多いのは下表のとおりである。

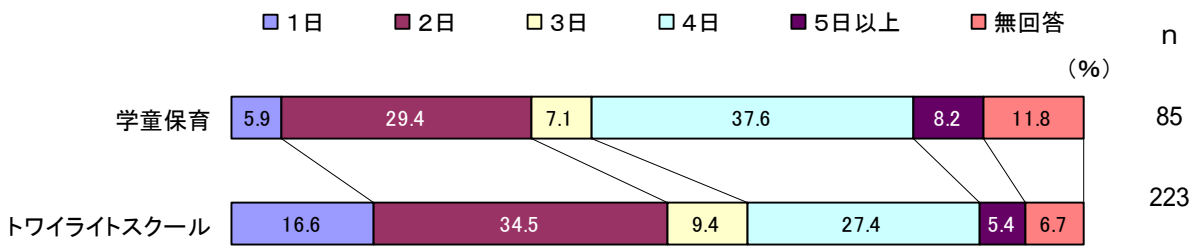
利用希望する施設	利用希望期間	最も多い希望日数	構成比 (%)
1. 学童保育所の平日の利用	1週に	5日	66.3
2. 学童保育所の土曜日の利用	1月に	4日	37.6
3. 学童保育所の長期の休みの利用	1年に	20日以上	75.8
4. トワイライトスクールの平日の利用	1週に	5日	34.4
5. トワイライトスクールの土曜日の利用	1月に	2日	34.5
6. トワイライトスクールの長期の休みの利用	1年に	20日以上	63.8



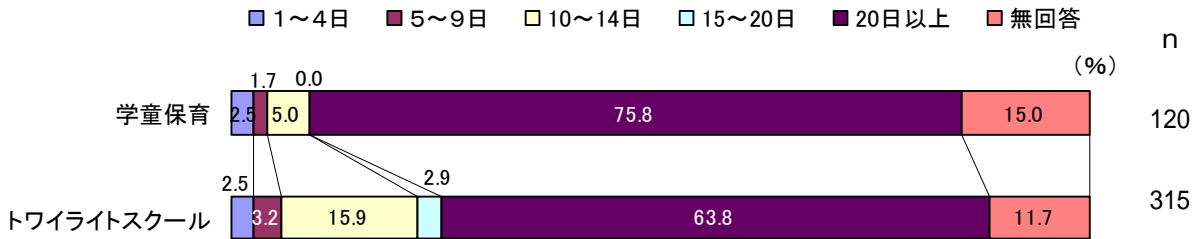
平日の利用希望（週）



土曜日の利用希望（月）



長期の休みの利用希望（年間）



（注）「平日」「土曜日」「長期の休み」の利用希望の無回答は0日を含む値である。

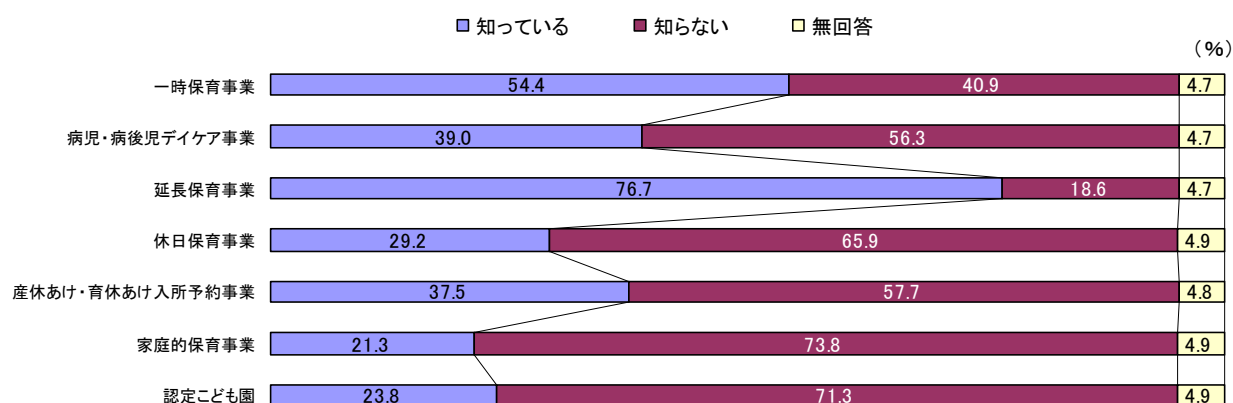
## 保育事業について 【問 33】

保育事業についてお答え下さい。

### A. 保育事業の認知度

5割以上の方が知っている事業は「延長保育事業」(76.7%)、「一時保育事業」(54.4%)であり、その他は4割以下の認知率になっている。認知率が低い事業として「家庭的保育事業」(21.3%)、「認定こども園」(23.8%)があげられる。

回答数 = 1,277



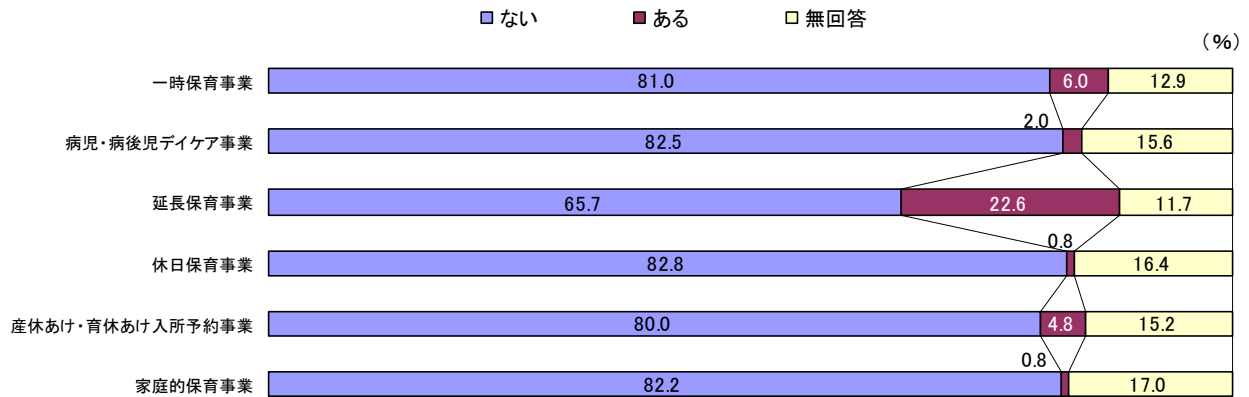
### 保育事業の概要

ア. 一時保育事業	保護者の方が、傷病、親族の看護、冠婚葬祭などのやむを得ない事由により緊急・一時的に家庭で保育ができない場合、週3日以内の就労などにより断続的に家庭で保育ができない場合、子育てのリフレッシュを希望される場合に就学前のお子さんを指定する保育所で保育します。
イ. 病児・病後児デイケア事業	病気及び病気回復期にある小学校3年生までのお子さんを勤務等の都合などにより家庭での保育ができないときに、一時的に保育します。
ウ. 延長保育事業	保育所に通っているお子さんについて、通常の保育終了時間を延長して保育します。事業を実施している保育所に通っているお子さんが利用できます。
エ. 休日保育事業	日曜、祝日に保護者の方が勤務等により家庭で保育できないときに、お子さんを指定する保育所で保育します。事業を実施している保育所以外の保育所に通っているお子さんも利用できます。
オ. 産休あけ・育休あけ入所予約事業	出産予定日の8週間前の日以降に入所予定日を特定して保育所への入所予約ができます。入所予約できるのは、指定保育所のみであり、利用できる定員には各保育所の状況により限度があります。
カ. 家庭的保育事業	一定の基準に適合した人の住まい等で、家庭的な雰囲気の中で少人数の保育を行うものです。個人の家で行うものと、民間保育所が近隣の賃貸アパート等で行うものがあります。
キ. 認定こども園	親の就労の有無・形態等で区別することなく、幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設として県が認定を行う施設ですが、名古屋市内には現在、認定されている施設はありません。

## B. 利用実績

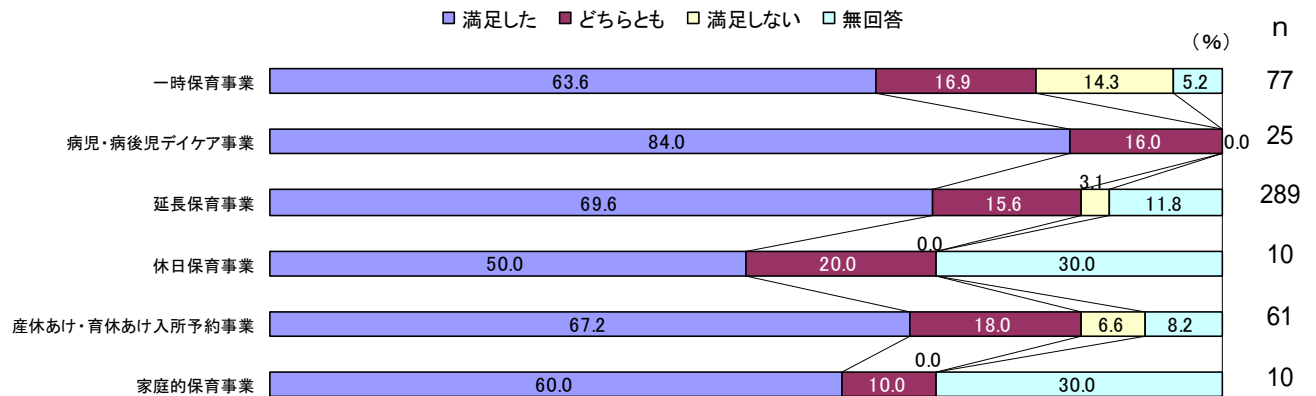
利用割合が最も高いのは「延長保育事業」(22.6%)、次いで、一時保育事業(6.0%)、「産休あけ・育休あけ入所予約事業」(4.8%)である。その他の事業はほとんど利用されていない。

回答数 = 1,277



## C. 利用した事業の満足度

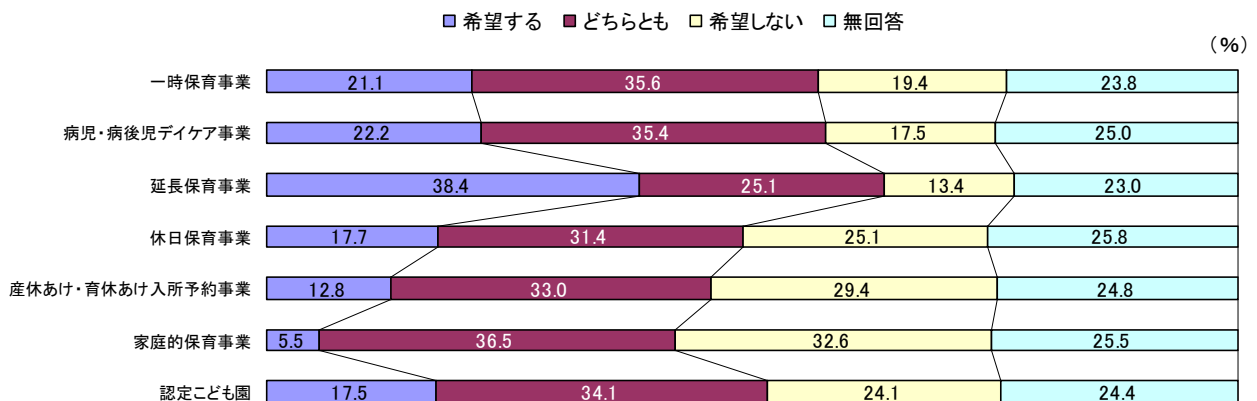
利用した人の満足度が高い事業は「病児・病後児デイケア事業」(84.0%)であり、その他の事業についても50%以上が満足している。



## D. 今後の利用希望

「延長保育事業」(38.4%)が最も高く、その他は5~22%の利用希望になっている。

回答数 = 1,277



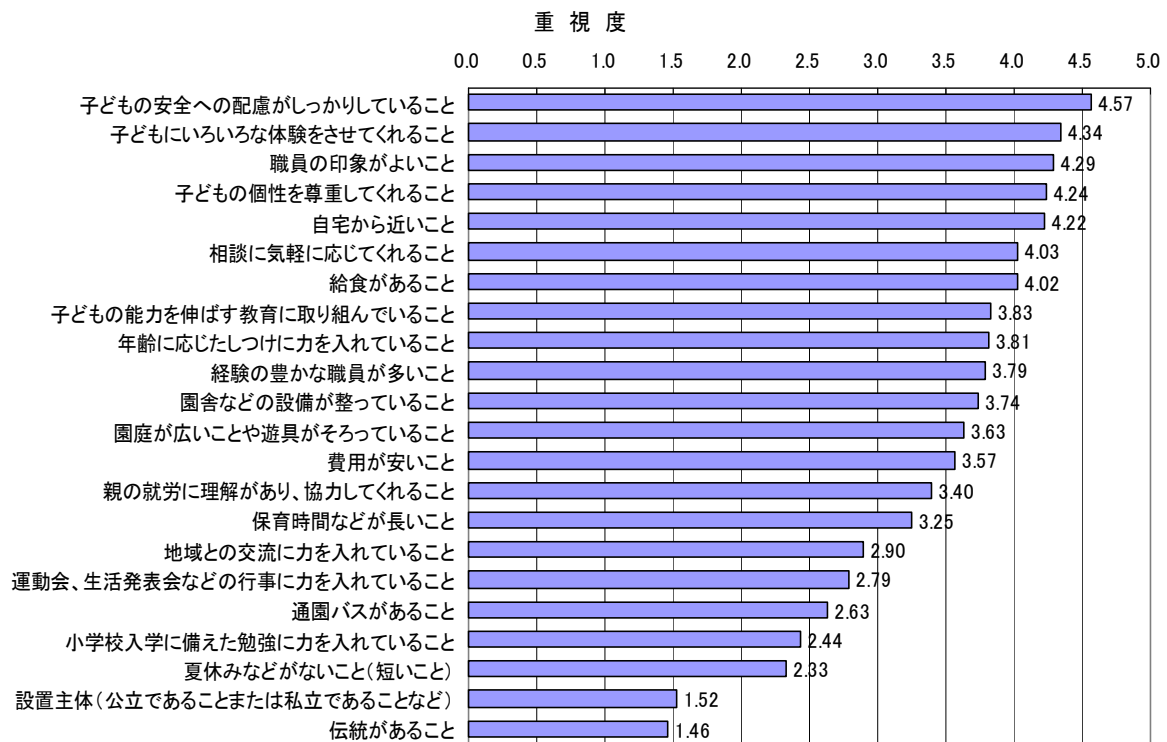
## 就学前の子どもの通う施設についての重視項目 【問34】

就学前のお子さんを通う施設（例「幼稚園」や「保育所」など）を選ぶ場合に次のようなことをどの程度重視しますか。

就学前のお子さんの通う施設について、重視する項目を見ると、最も重要視されるのが、「子どもの安全への配慮がしっかりしていること」（4.57）であり、その他4.0以上の項目として、

- 「子どもにいろいろな体験をさせてくれること」（4.34）
- 「職員の印象がよいこと」（4.29）
- 「子どもの個性を尊重してくれること」（4.24）
- 「自宅から近いこと」（4.22）
- 「相談に気軽に応じてくれること」（4.03）
- 「給食があること」（4.02）があげられる。

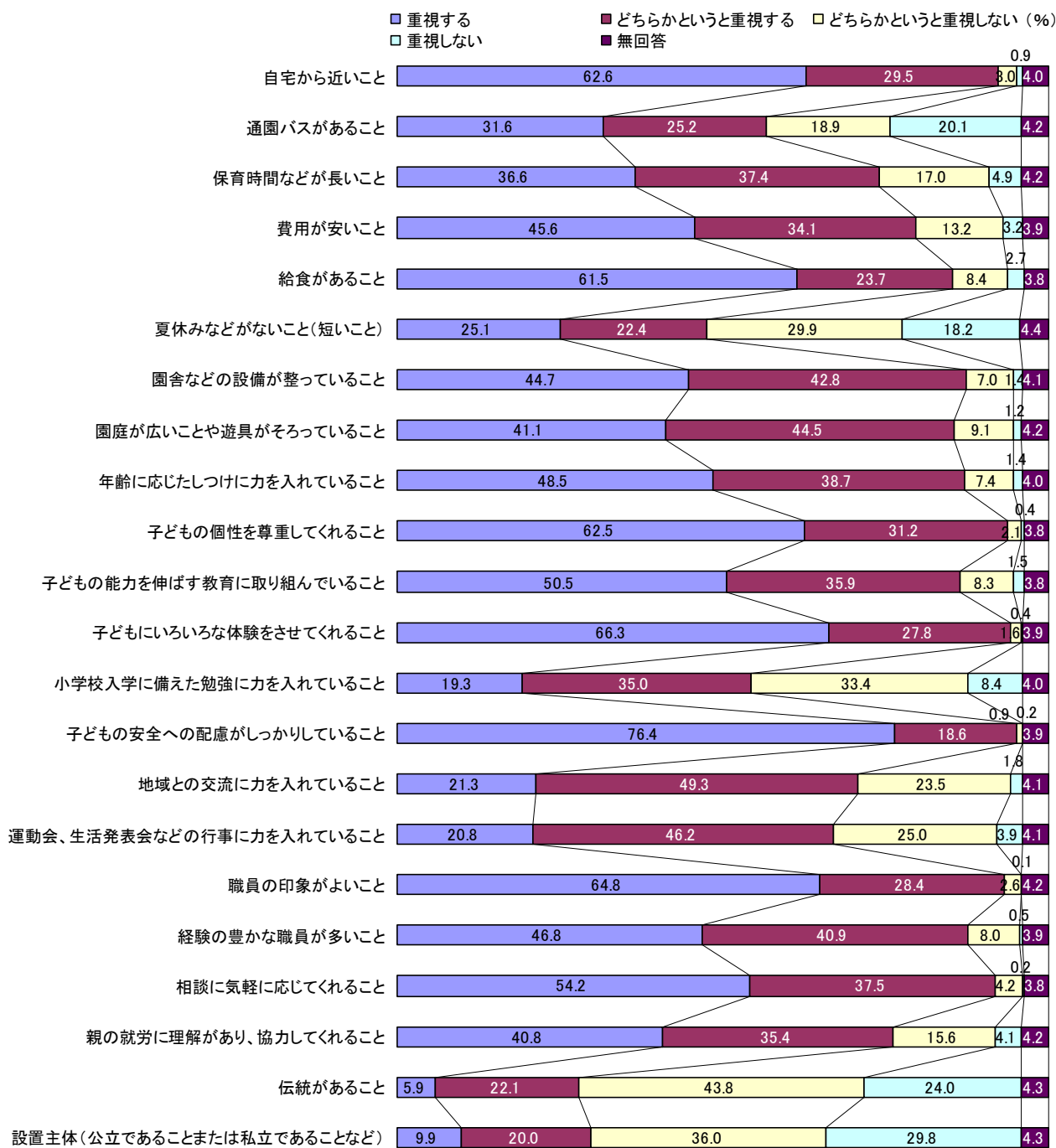
反対に、重視度が低い項目は、「伝統があること」（1.46）、「設置主体（公立であることまたは私立であることなど）」（1.52）などである。



(注) 「重視する」=5、「どちらかという重視する」=3、「どちらかという重視しない」=1、「重視しない」=0として、項目別の回答者の重みで算出した値である。

# 重視の程度の内訳

回答数 = 1,277



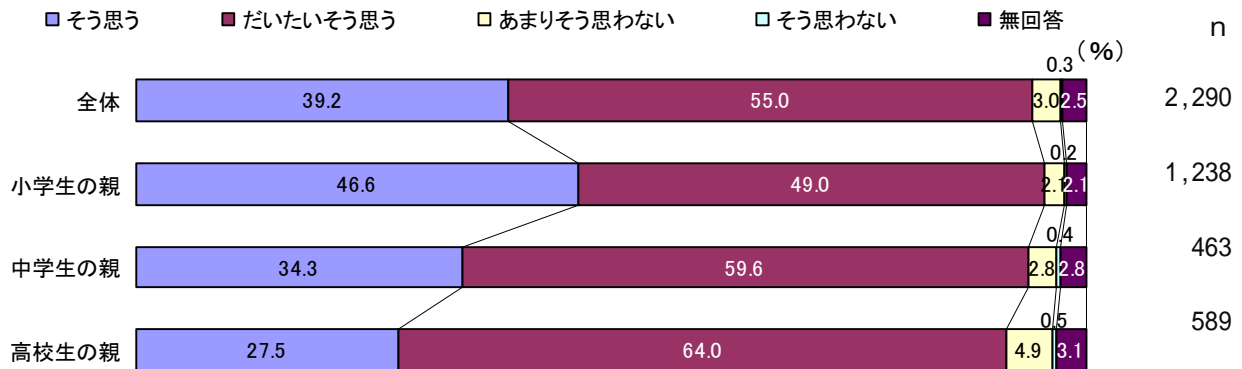
## 子どもとの親子関係について 【問 38】【問 47】

お子さんとの関係に関する以下の項目について、あなたはどのように思われますか。

子どもが成長するにつれて、子どもや子どものまわりのことについて知らないことが増えてくる傾向がみられる。また、子どものことで一番わかっているのは「健康状態」である。

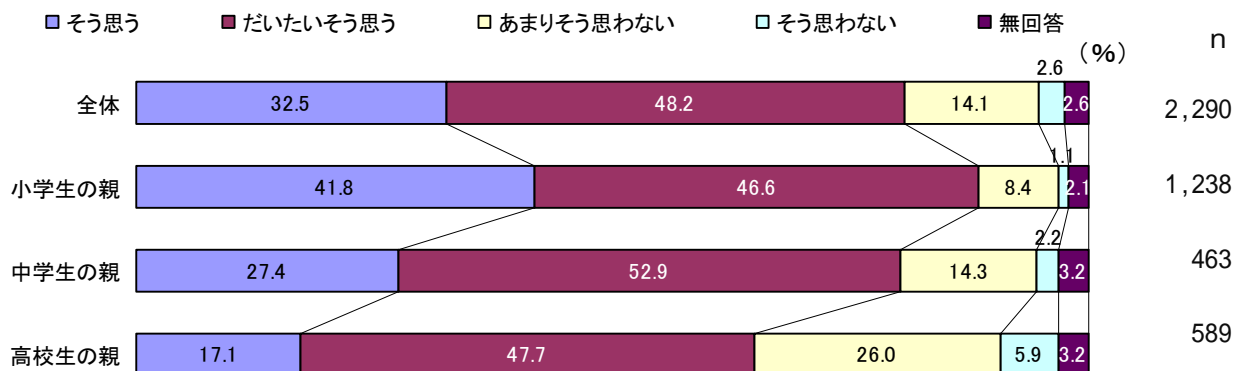
### ア．子どもの好きなことをよくわかっている

「そう思う」は小学生の親子が最も高く 46.6%、高校生で最も低く 27.5%である。



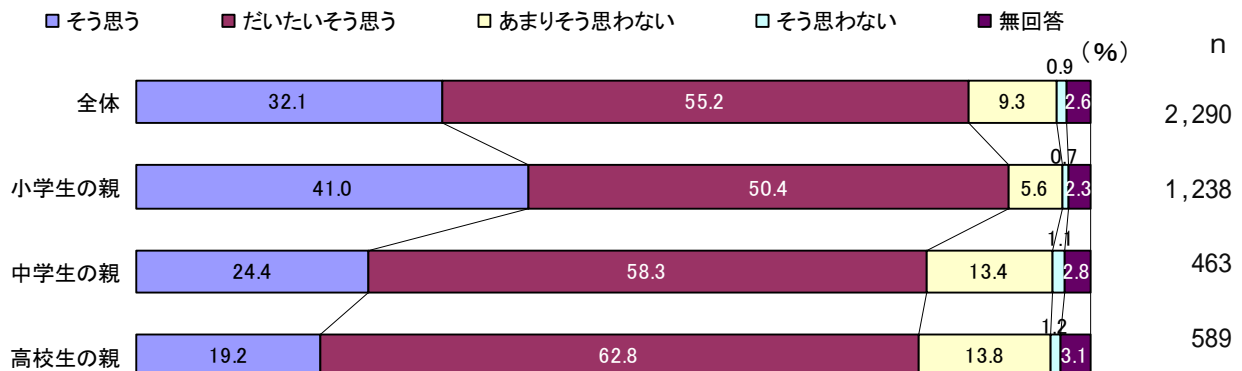
### イ．子どもの仲のいい友達の名前をほとんど知っている

「そう思う」は小学生の親子が最も高く 41.8%、高校生で最も低く 17.1%である。



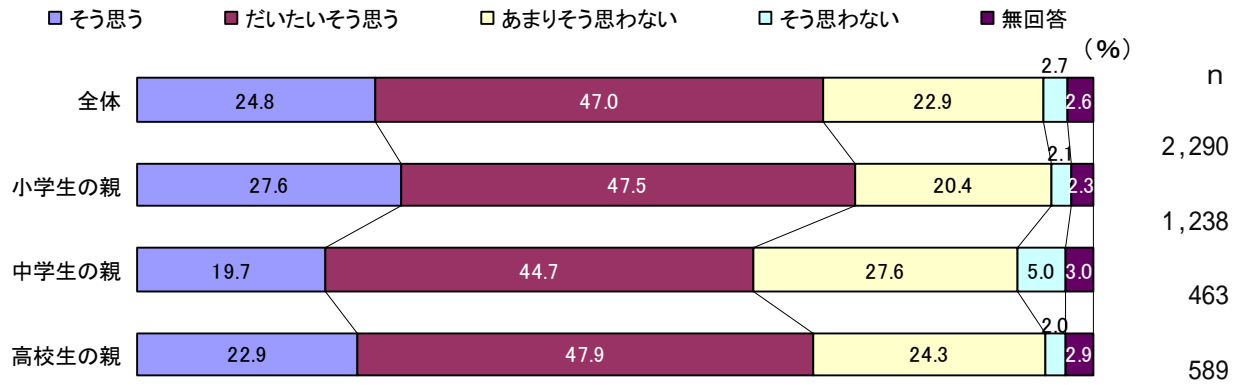
### ウ．子どもに信頼されていると感じている

「そう思う」は小学生の親子が最も高く 41.0%、高校生で最も低く 19.2%である。



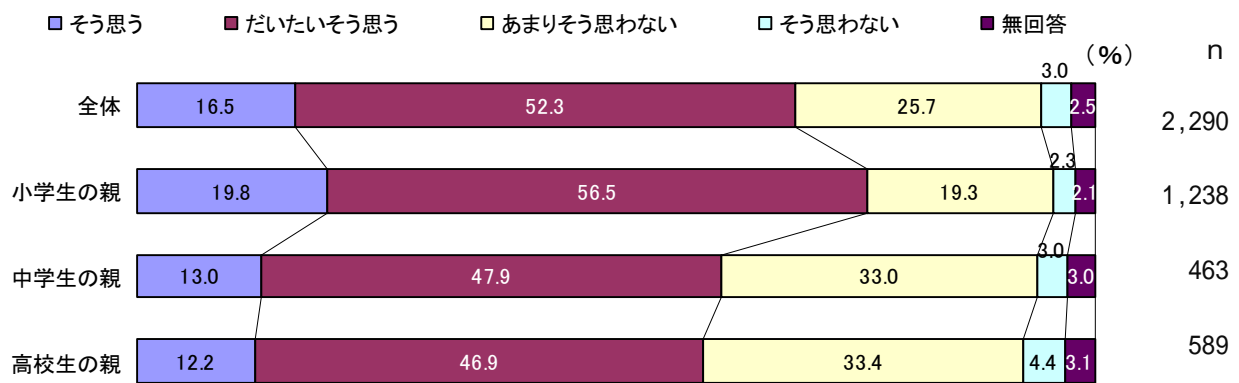
エ．子どもの将来の夢についてよく知っている

「そう思う」は小学生の親子が最も高く 27.6%、中学生で最も低く 19.7%である。



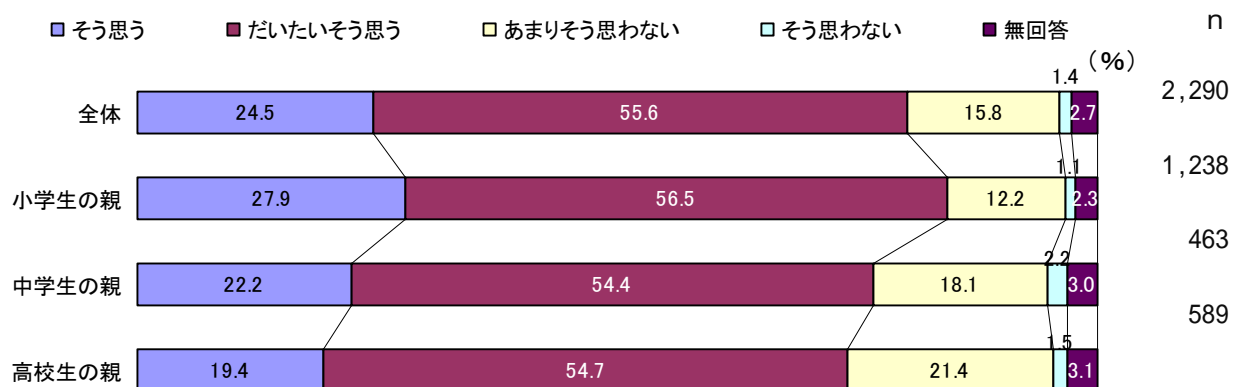
オ．子どもの学校での様子や出来事をよく知っている

「そう思う」は小学生の親子が最も高く 19.8%、高校生で最も低く 12.2%である。



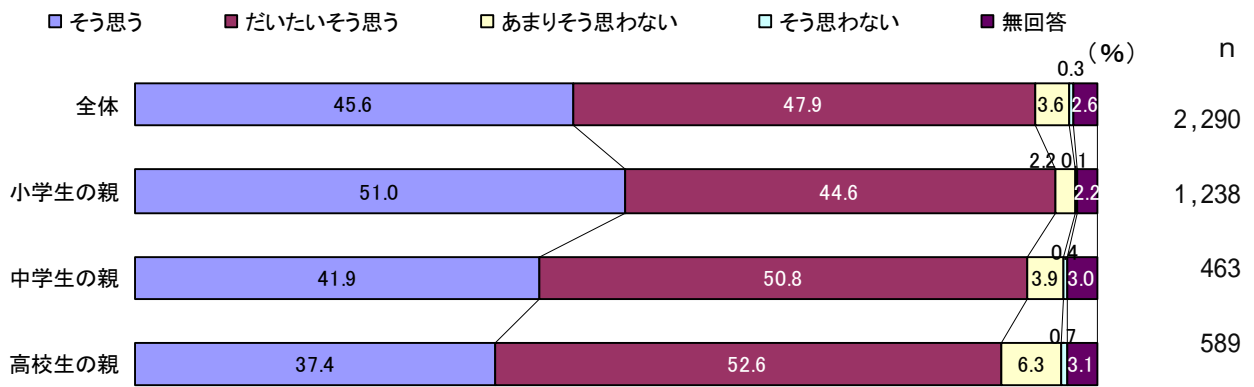
カ．子どもに悩み事があるときは、わかる

「そう思う」は小学生の親子が最も高く 27.9%、高校生で最も低く約 19.4%である。



キ．子どもの健康状態をしっかり把握している

「そう思う」は小学生の親子が最も高く 51.0%、高校生で最も低く 37.4%である。





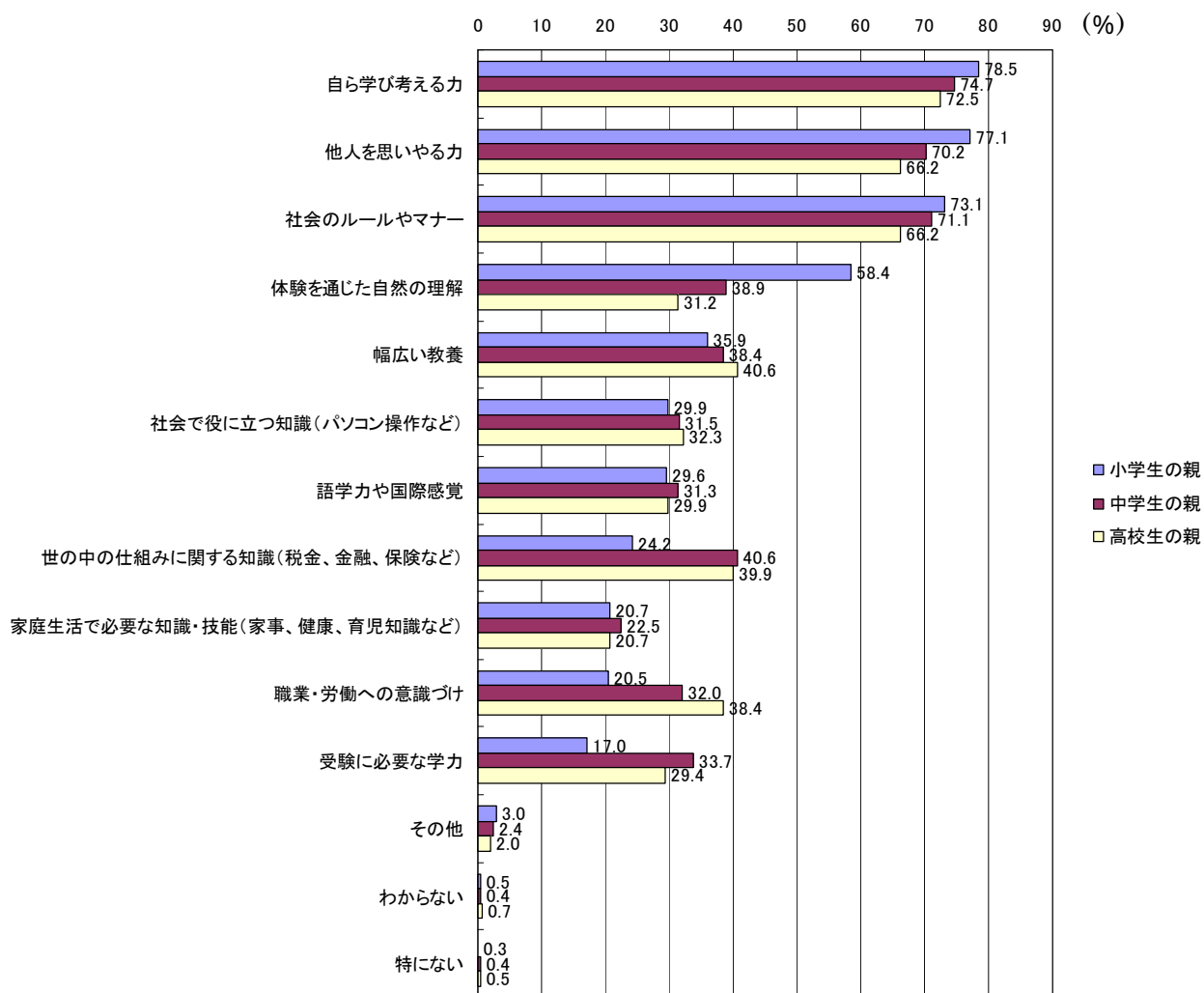
学校教育で充実を希望する分野について 【問 39】【問 48】

あなたは学校教育でどのようなことをもっと充実してほしいと思いますか。(複数回答)

多くの項目に対する希望がある中で、「自ら学び考える力」「他人を思いやる力」「社会のルールやマナー」の割合が、小学生、中学生、高校生ともに高い傾向にある。

小学生では「体験を通じた自然の理解」に対する希望割合が、中学生、高校生より高い。

反対に中学生、高校生では「世の中の仕組みに関する知識(税金、金融、保険など)」や「職業・労働への意識づけ」などに対する希望割合が小学生よりも高い。



回答数 小学生の親 = 1,238、中学生の親 = 463、高校生の親 = 589  
 合計 小学生の親 = 5,834、中学生の親 = 2,274、高校生の親 = 2,790

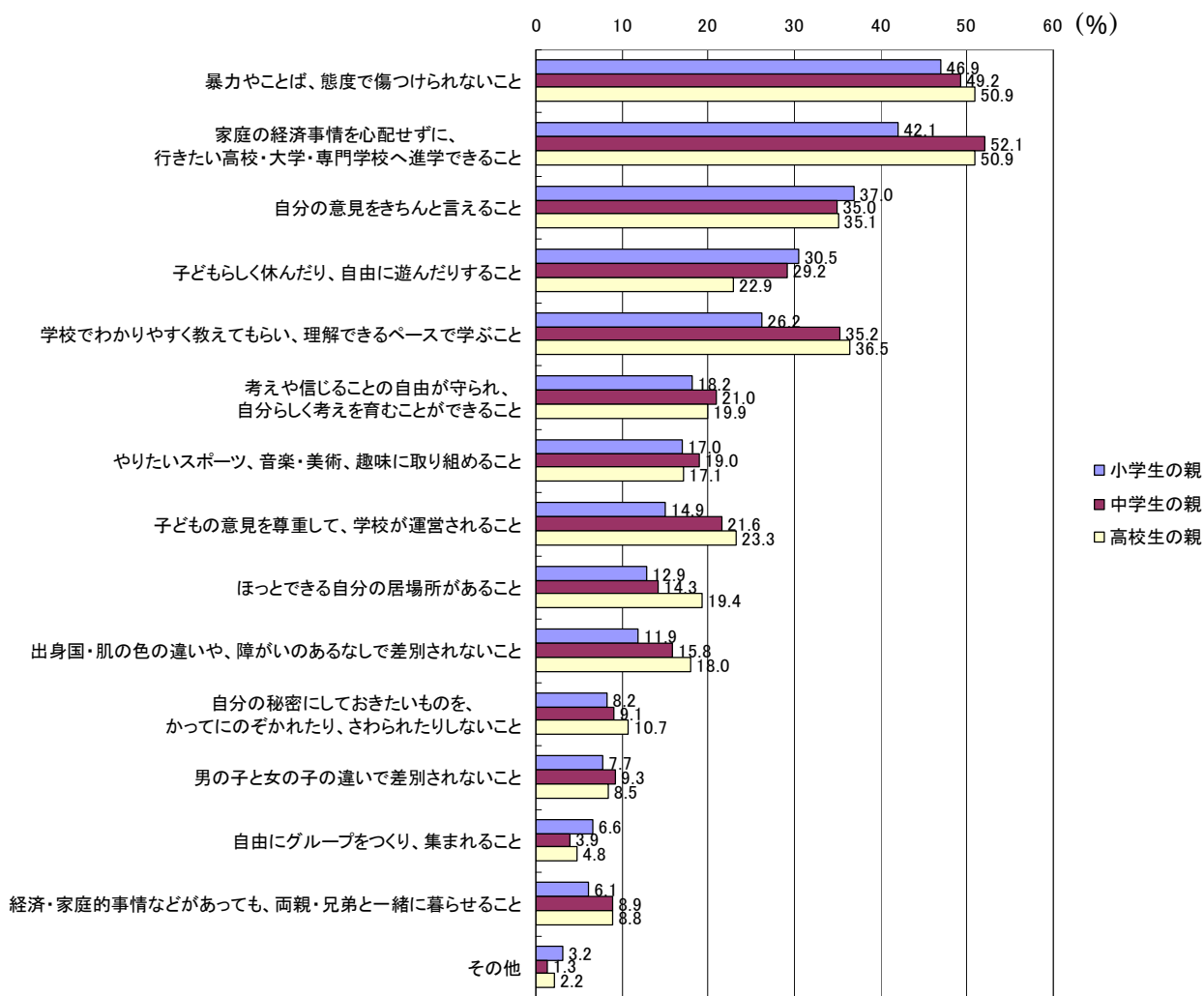
今の子どもにとって満たされていないことについて 【問 40】【問 50】

今の子どもにとって、特に満たされていない、守られていないとあなたが感じるものをお答え下さい。(複数回答)

「暴力やことば、態度で傷つけられないこと」や「家庭の経済事情を心配せずに、行きたい高校・大学・専門学校へ進学できること」が小学生、中学生、高校生ともに高い。

「自分の意見をきちんと言えること」も満たされていないことと認識されている。

中学生や高校生については、上記の他に「学校でわかりやすく教えてもらい、理解できるペースで学ぶこと」「子どもの意見を尊重して、学校が運営されること」などが小学生と比較して満たされていないことと認識されている。



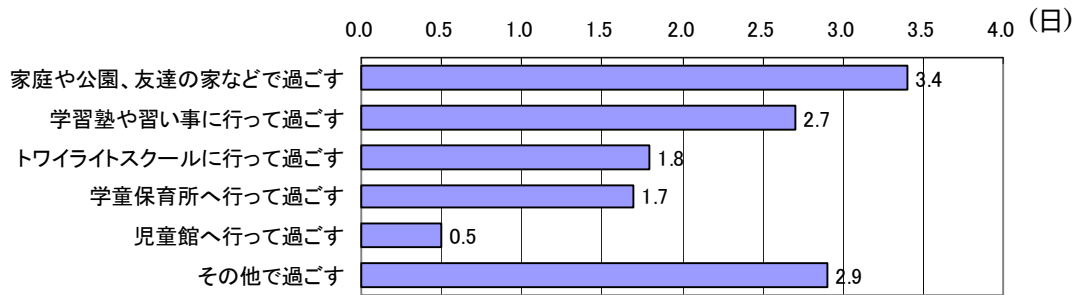
合計 小学生の親 = 3,690、中学生の親 = 1,541、高校生の親 = 1,975

**子どもの放課後の過ごし方について 【問 41】**

あて名のお子さんは平日の放課後をどのように過ごしていますか。(複数回答)

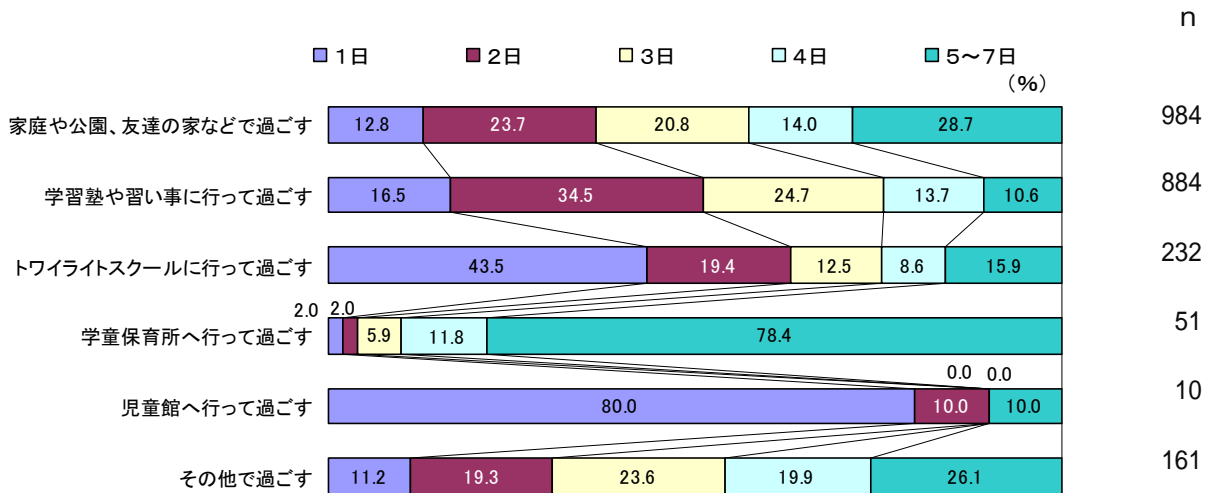
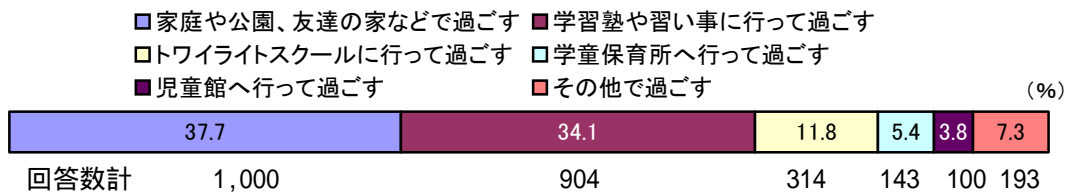
1週間の平均的な日数で見ると「家庭や公園、友達の家などで過ごす」ことが最も多く、平均3.4日である。次が「学習塾や習い事に行って過ごす」の2.7日、「トワイライトスクールに行って過ごす」が1.8日、「学童保育所へ行って過ごす」が1.7日となっている。

回答数 = 1,238 合計 = 2,686



**【日数の内訳】**

回答数 = 1,238 合計 = 2,686



(注) 日数の回答のないものは除いて集計している。

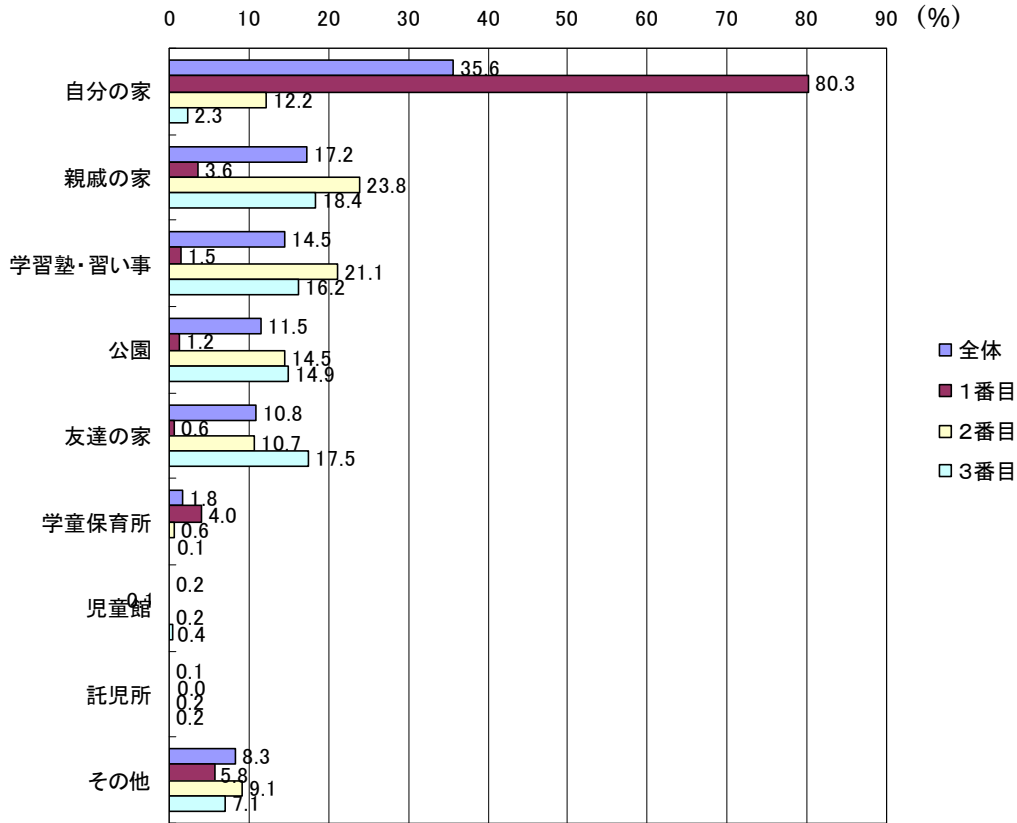
**子どもの長期の休みの過ごし方について 【問 42】**

お子さんは夏休みなど長期の学校の休みをどこで過ごしていますか。(3つ)。

全体では、「自分の家」が35.6%で最も多く、次に「親戚の家」(17.2%)が多い。

1番目で最も多いのが「自分の家」、次いで「親戚の家」「学習塾・習いごと」の順になっている。

回答数 = 1,238



### 子どもの学童保育所などの利用希望について 【問 43】

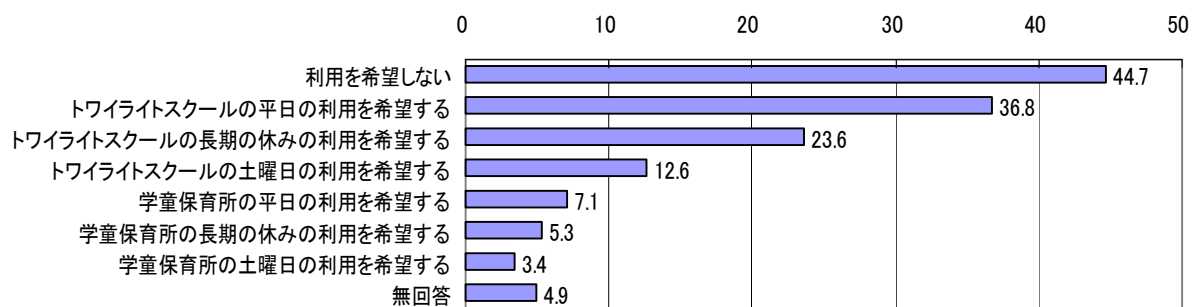
今後、学童保育所やトワイライトスクールの利用を希望しますか。(複数回答)

今後の学童保育・トワイライトの利用を希望しない層が最も多い。

利用希望の上位3位までがトワイライトスクールであり、平日希望が36.8%、長期の利用希望が23.6%、土日の利用希望が12.6%である。

学童保育所の利用希望は少なく、平日の利用希望でも約7%である。

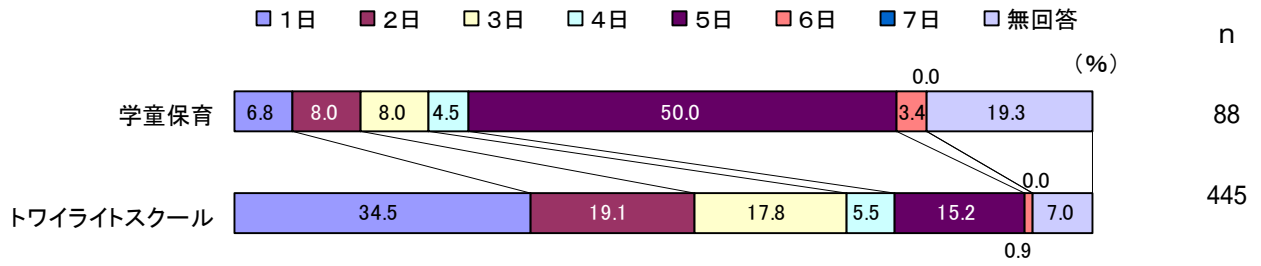
回答数 = 1,238 合計 = 1,713



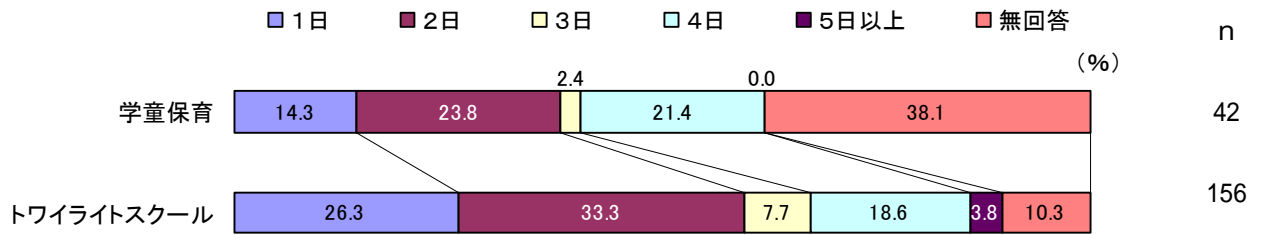
希望日数で最も多い値をみると、長期については20日以上の利用希望が、共通している。

	平日 (%)		土曜日 (%)		長期の休み (%)	
	利用希望あり		利用希望あり		利用希望あり	
学童保育所	80.7	50.0	61.9	23.8	74.2	59.1
					20日以上/年	
トワイライトスクール	93.0	34.5	89.7	33.3	87.7	54.1
					20日以上/年	

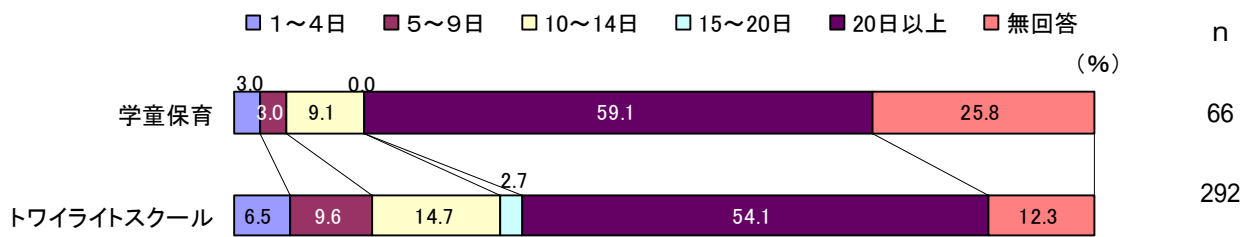
平日の利用希望（週）



土曜日の利用希望（月）



長期の休みの利用希望（年間）



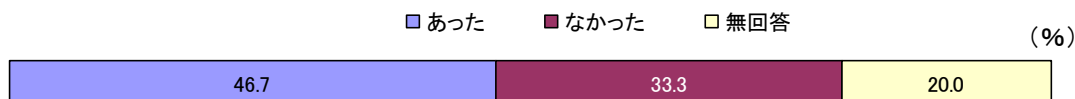
(注)「平日」「土曜日」「長期の休み」の利用希望の無回答は0日を含む値である。

## 病児・病後児保育について 【問 44】

あて名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありましたか。

この1年間の中でのお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことが「あった」割合は46.7%である。

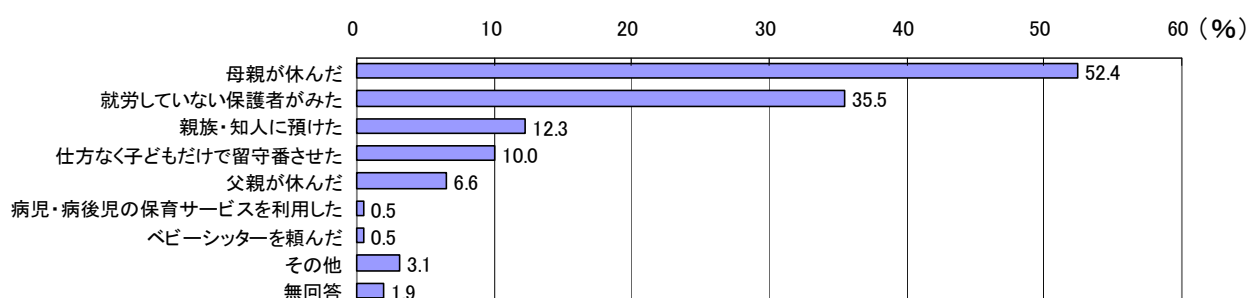
回答数 = 1,238



病気やケガで学校を休まなければならなかった場合の対応（複数回答）

「母親が休んだ」が52.4%と最も多く、次が「就労していない保護者がみた」(35.5%)である。

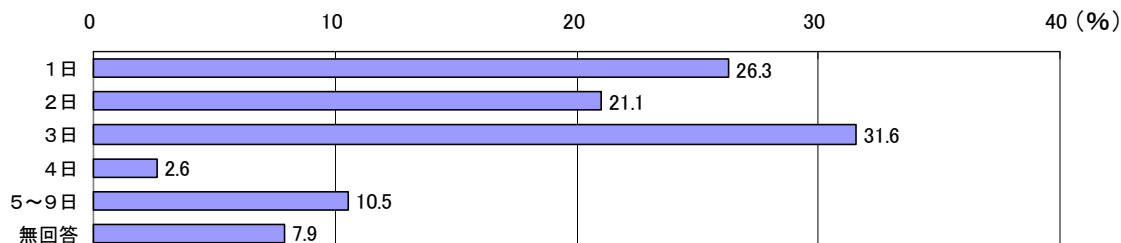
回答数 = 578 合計 = 710



1年間に父親が休んだ日数

「3日」が最も多く31.6%、次に「1日」が26.3%、「2日」が21.1%である。

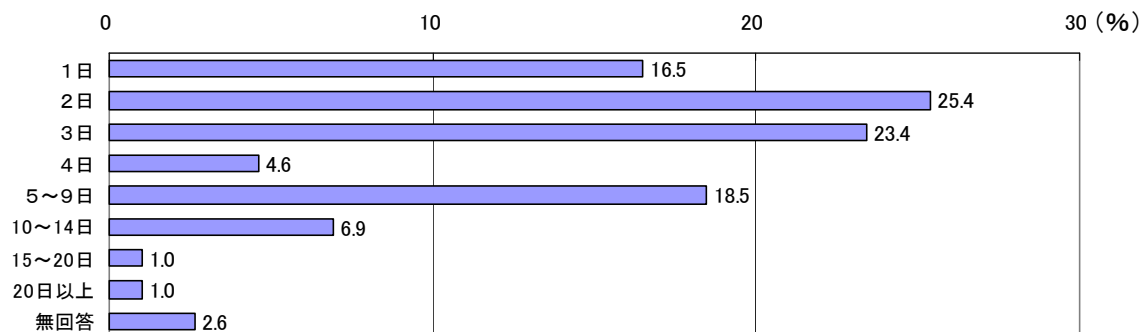
回答数 = 38



1年間に母親が休んだ日数

「2日」が最も多く25.4%、次に「3日」が23.4%、「5～9日」が18.5%である。

回答数 = 303

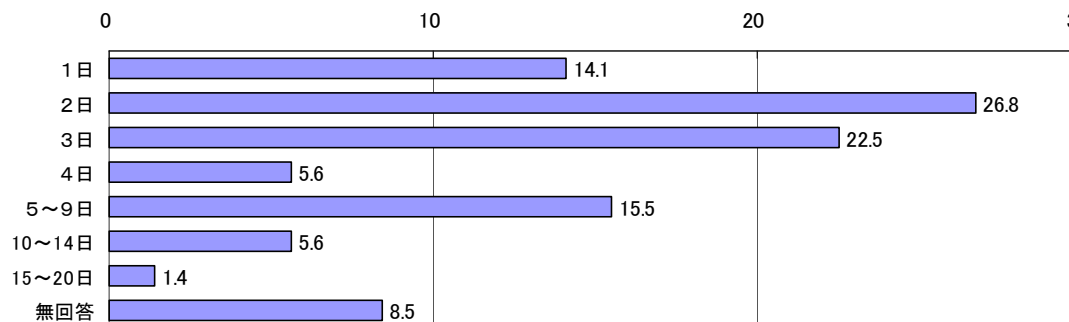


(注)「1年間に父親・母親が休んだ日数」の無回答は0日を含む値である。

### 親族・知人に預けた日数

「2日」が最も多く26.8%、次に「3日」が22.5%、「5～9日」が15.5%である。

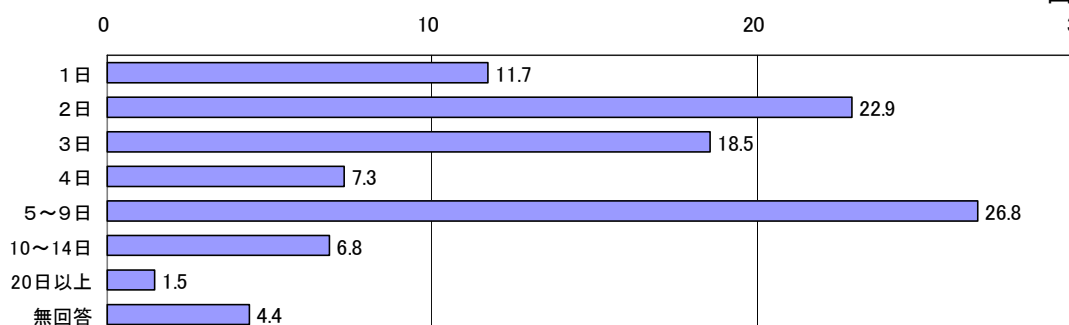
回答数 = 71  
30 (%)



### 就労していない保護者がみた日数

「5～9日」が最も多く26.8%、次に「2日」が22.9%、「3日」が18.5%である。

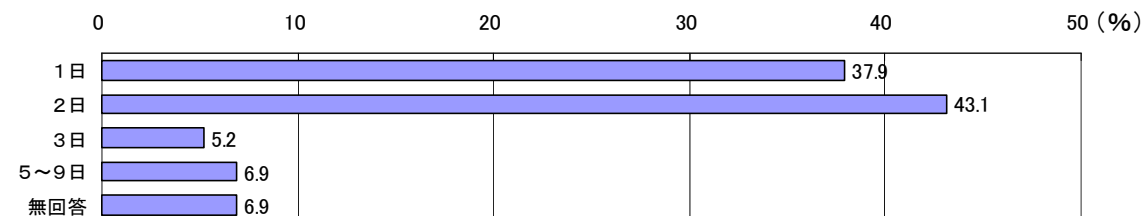
回答数 = 205  
30 (%)



### 子どもだけで留守番させた日数

「2日」が最も多く43.1%、次に「1日」が37.9%、「5～9日」が6.9%である。

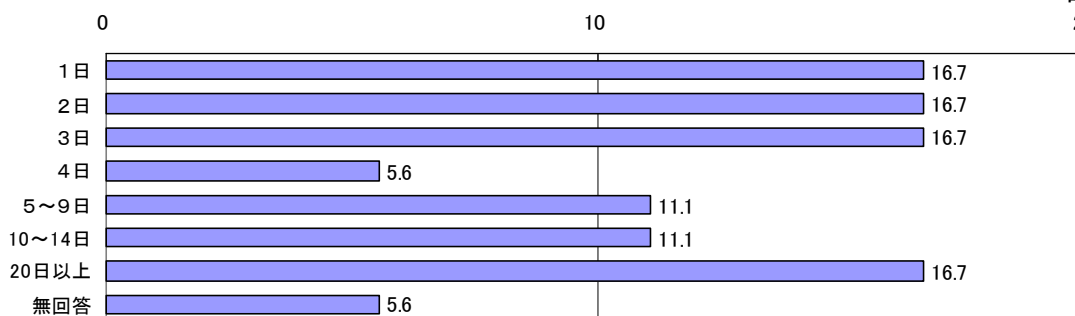
回答数 = 58



### その他の日数

「1日」、「2日」、「3日」、「20日以上」が最も多く16.7%、次に「5～9日」、「10～14日」が11.1%、「4日」が5.6%である。

回答数 = 18  
20 (%)



(注)「親族・知人に預けた日数」「就労していない保護者がみた日数」「子どもだけで留守番させた日数」「その他の日数」の無回答は0日を含む値である。



## 名古屋市の子育て支援サービスについて 【問46】

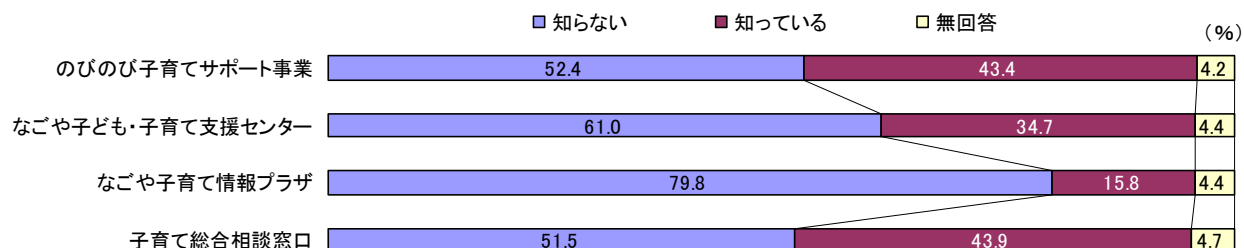
名古屋市が行う子育て支援サービスについてお答え下さい。

### A. 事業の認知度

どのサービスについても5割以上が知られていない状況であり、特に「なごや子育て情報プラザ」は79.8%の人が「知らない」と回答している。

認知率が最も高いのは「子育て総合相談窓口」(43.9%)と「のびのび子育てサポート事業」(43.4%)である。

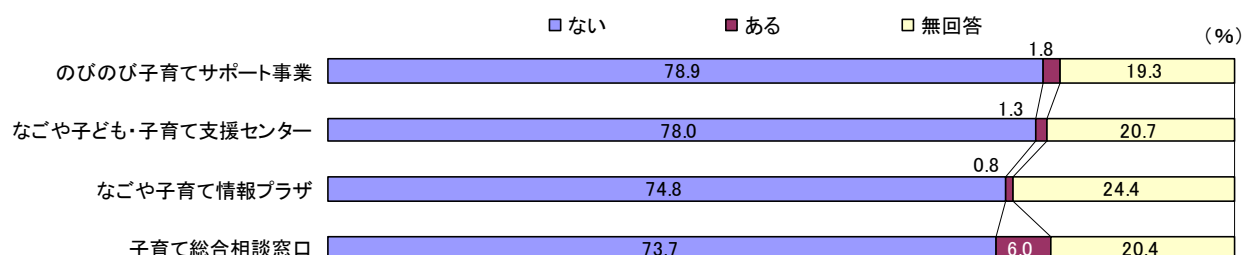
回答数 = 1,238



### B. 利用実績

利用経験のある割合は認知度が最も高い「子育て総合相談窓口」の6.0%であり、その他の事業の利用割合は2%未満である。

回答数 = 1,238

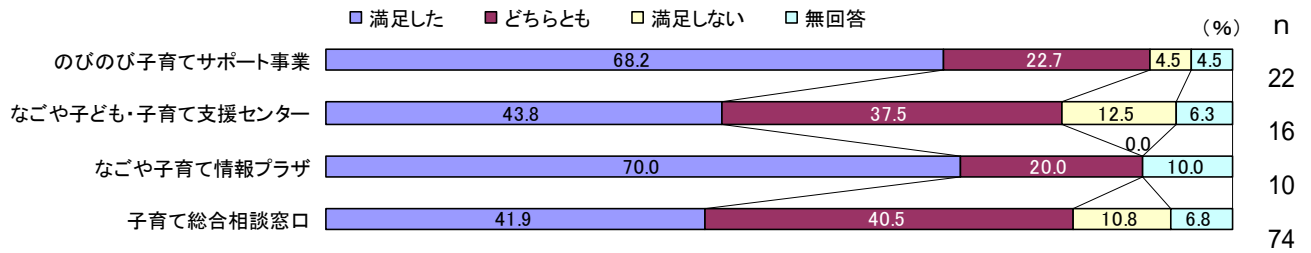


### 【参考】

ア. のびのび子育てサポート事業	子育ての援助を行いたい方と受けたい方からなる会員組織により一時的に子育ての手助けをしよう制度
イ. なごや子ども・子育て支援センター (758キッズステーション)	子育て支援関係機関のネットワークづくりや子育てサークルへの支援などを行う子育て相談・交流のネットワークの拠点施設
ウ. なごや子育て情報プラザ	なごや子ども・子育て支援センター開設にともない廃止(平成19年9月)
エ. 子育て総合相談窓口	専任の保健師等が子育てに関する相談に応じる窓口で市内全保健所に設置

### C 利用した結果の満足度

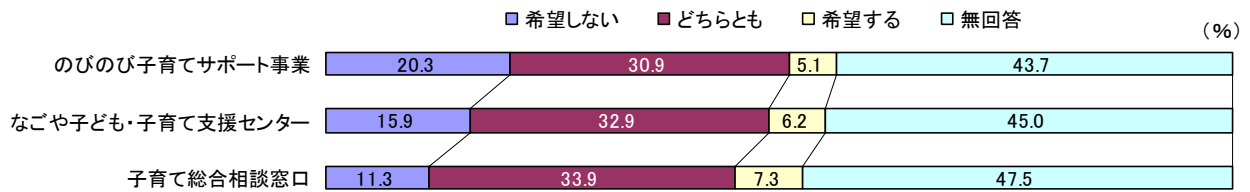
利用した人の中で「満足した」割合は「のびのび子育てサポート事業」で 68.2%、「なごや子育て情報プラザ」で 70.0%と高い。



### D 今後の利用希望

今後の利用については、「希望する」割合は 5~7%と低い。

回答数 = 1,238



子どもの進路への期待について 【問 49】

お子さんに、最終的にどこまで進学してほしいとお考えですか。

大学までが最も多く 62.1%である。さらに大学院までの割合 5.6%を足し上げると 67.7%が大学以上を望んでいる。一方で高校（職業科）までが 6.6%、高校（普通科）までが 2.7%である。

回答数 = 1,052

